

平成30年度 事業報告書



社会福祉法人 うきは市社会福祉協議会

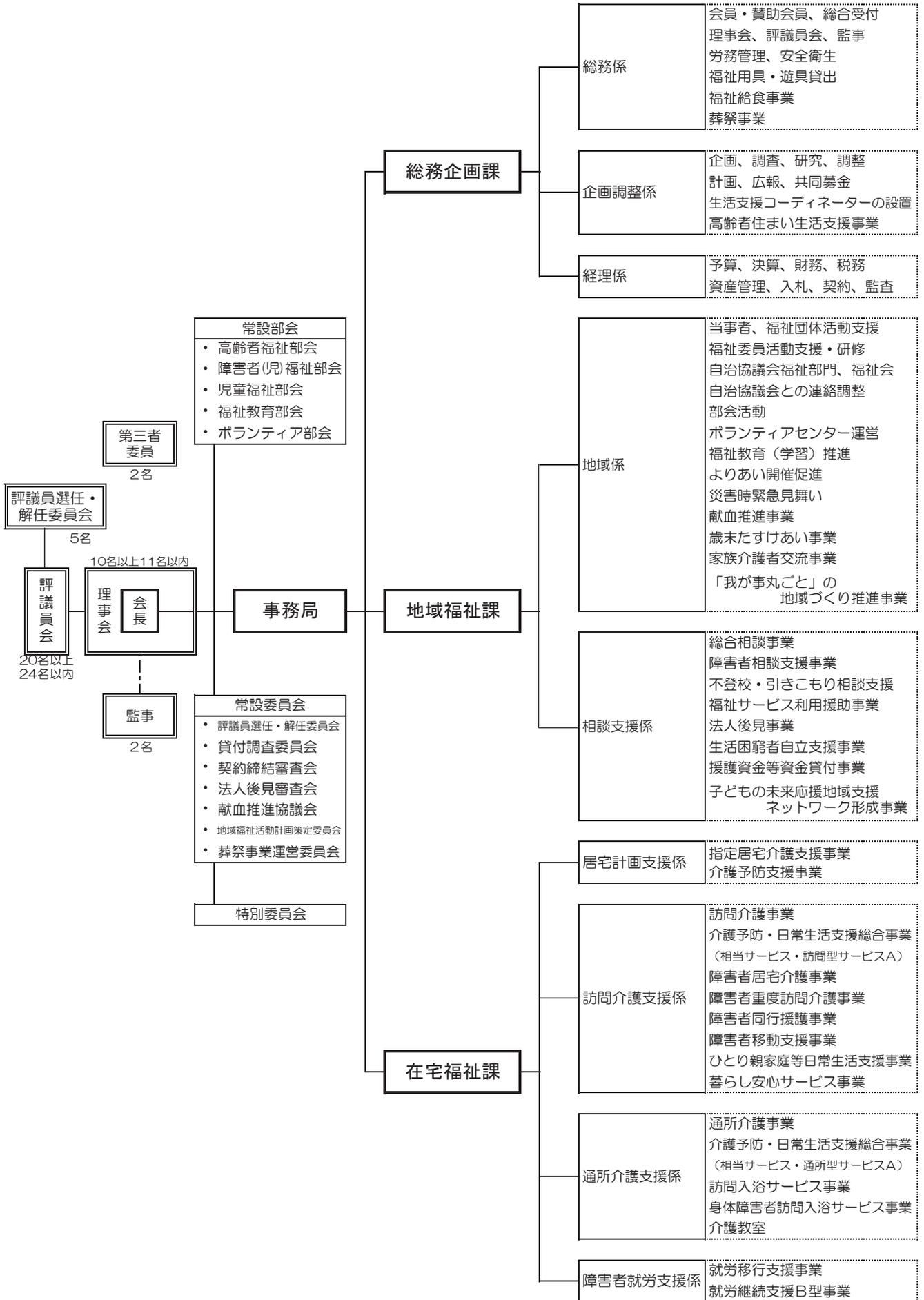
目 次

□うきは市社会福祉協議会組織図	1
□うきは市社会福祉協議会組織構成、役員名簿、第三者委員名簿	2
評議員選出区分一覧、常設委員会委員長名簿、部会長名簿、職員による委員会	3
□うきは市社会福祉協議会運営理念、基本目標、平成30年度事業報告概要	4
I 総務企画部門	
《総務係・経理係》	5
1. 法人運営	5
2. 各部門の総合調整、活動支援	9
3. 福祉給食	9
4. 管理・経営（指定管理）	10
5. 福祉車両、福祉用具の無料貸出	10
6. 公益事業（葬祭事業）	11
7. 西日本豪雨災害支援	11
《企画調整係》	12
1. 調査・企画・広報事業	12
2. 介護予防・生活支援体制整備事業	13
3. 高齢者等住まい・生活支援事業	19
4. 地域公益活動についての研究・実施	20
5. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働	20
II 地域福祉活動部門	
《地域係》	25
1. 部会・研究事業	25
2. 連絡調整事業	26
3. ふれあいのまちづくり推進事業	27
4. 共同募金配分金事業	33
5. 我が事丸ごとの地域づくり推進事業	37
6. たすけあい献血事業	40
7. 家族介護者交流事業	41
8. 移送サービス支援事業	41
《相談支援係》	42
1. 生活困窮者自立支援事業	42
2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業）	44
3. 成年後見事業	45
4. うきは市障害者相談支援センター	46
5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業	49
6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業	50
7. 資金貸付事業	51
III 在宅福祉サービス事業部門	
1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）	52
2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）	52
3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）	54
4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）	55
5. 制度補足サービス	57
6. 連携・協働事業	58

IV その他	
1. 実習・見学受入状況等	59
2. 講演、事例報告への職員派遣	60
3. 書籍等への掲載	61
V 平成30年度寄付概要	
1. 香典返し寄付	62
2. 一般寄付	62
3. 物品寄付	62
□ 平成30年度事業報告付属明細書	63

うきは市社会福祉協議会組織図

平成30年4月1日



うきは市社会福祉協議会組織構成

議決機関	評議員会	20名以上24名以内
執行機関	理事会	10名以上11名以内
監査機関	監事	2名
常設委員会	評議員選任・解任委員会	5名
	献血推進協議会	32名
	地域福祉活動計画策定委員会	22名
	子どもの未来応援地域ネットワーク協議会	9名
	契約締結審査会	7名
	法人後見審査会	5名
	貸付調査委員会	9名
	葬祭事業運営委員会	10名
部 会	高齢者福祉部会	12名
	障がい者（児）福祉部会	12名
	児童福祉部会	12名
	ボランティア部会	12名

役員名簿（平成31年3月31日現在）

（敬称略）

役 職	氏 名（選出区分）	
理事（会長）	石井 忠 孝	（識見を有する者）
〃（副会長）	伊藤 正 勝	（識見を有する者）
〃（副会長）	岩崎 道 代	（識見を有する者）
〃	高山 敏 枝	（識見を有する者）
〃	東 多喜子	（識見を有する者）
〃	古賀 淳 二	（自治協議会）
〃	國武 輝 興	（自治協議会）
〃	永井 ケイ子	（民生委員児童委員協議会）
〃	足立 光 二	（保健・医療関係者）
〃	古賀 純 子	（社会福祉法人の役職員）
〃	高倉 義 章	（ボランティア連絡協議会）
監 事	河北 和 彦	（社会福祉事業に識見を有する者）
〃	三浦 隆 文	（財務管理に識見を有する者）

第三者委員名簿（平成31年3月31日現在）

（敬称略）

選 出 区 分	氏 名
民生委員・児童委員	水 城 秀 記
学識経験者	熊 懷 勝 子

評議員選出区分一覧

区 分	区分の内訳	定 数
住民組織	自治協議会	4名以内
当事者の団体及び組織	老人クラブ	1名
	障がい者福祉協会	1名
	精神障がい者家族会	1名
	母子寡婦福祉会	1名
	子育て・育児団体	1名
社会福祉に関する活動を行う団体及び組織	在宅介護者の会	1名
	福祉委員	2名以内
	ボランティア連絡協議会	1名
	農業協同組合	1名
民生委員・児童委員またはその組織	人権擁護委員会	1名
	民生委員児童委員協議会	1名
社会福祉事業者関係	社会福祉施設（社会福祉法人）	1名
	介護サービス事業連絡会	1名
保健・医療・教育等の関係機関・団体	小中学校長会	1名
	P T A連絡協議会	1名
	保健・医療関係機関・団体	2名以内
地域福祉推進に必要な地域の主要な諸団体	商工会	1名
	青年会議所	1名
計		20名以上 24名以内

常設委員会委員長名簿 （平成31年3月31日現在） （敬称略）

委員会名	委員長名
献血推進協議会	石 井 忠 孝
地域福祉活動計画策定委員会	石 井 靖 治
子どもの未来応援地域ネットワーク協議会	安 元 ひろみ
契約締結審査会	國 武 雅 子
法人後見審査会	梅 根 眞知子
貸付調査委員会	江 藤 武 夫
葬祭事業運営委員会	永 井 ケイ子

部会長名簿 （平成31年3月31日現在） （敬称略）

部 会 名	部会長名
高齢者福祉部会	須 山 正 光
障がい者（児）福祉部会	諫 山 勝
児童福祉部会	野 上 祥 成
ボランティア部会	舎 川 博 道

職員による委員会 （平成31年3月31日現在）

委 員 会 名	委 員 数
安全衛生推進委員会	3名
緊急・災害対策検討委員会	8名
社会貢献プロジェクト委員会（うきは市社会福祉法人連絡協議会）	3名

うきは市社会福祉協議会運営理念

1. 住民の皆さまの色々な声をしっかり聴きとり一緒に考えます。
2. より多くの住民皆さまと力を合わせて福祉のまちづくりを実現します。
3. サービスの質を高め在宅福祉を充実します。
4. 行政等で対応できないことでも住民皆さまと共に取り組んでいきます。
5. 地域の皆さまに積極的に福祉情報を提供します。

基本目標「誰もが幸せに暮らせるまちづくり」

平成30年度事業報告概要

平成30年度は、うきは市からの受託事業が大きく進展した年度となりました。

「地域包括ケアシステム」構築に向けた介護予防・生活支援体制整備事業については、3年目を迎え、第1層の地域支え合い推進員を2名配置すると共に、他の職員とも連携・協働し、うきは市全域を範囲とする第1層の協議の場の開催と旧小学校区を単位とする第2層の協議の場設置に向けた勉強会等協議の場の設置推進に取り組みました。これにより、これまでの江南地区、御幸地区、大石地区に加え、妹川地区、福富地区において勉強会を開催。移動支援・地域食堂の開催・居場所活動の充実等、協議の場の中で話し合ったものが仕組みや活動につながるよう各種支援をあわせて行いました。

2年目となる地域共生社会づくりに向けた「我が事・丸ごとの地域づくり推進事業」については、自らが住む地域生活課題の発見や解決につながる福祉小座談会の開催について自治協議会等の協力を得ながら福祉小座談会未開催の区に働きかけを行い、新たに開催する行政区を増やすことができました。また、住民が抱える悩み事や相談ごとを丸ごと受け止める場として、「生活・福祉丸ごと相談」の窓口を吉井事務所・浮羽事務所に開設し、市民の皆さまの困りごとを丸ごと受け止め、相談内容に応じた適切な機関へ繋ぎ、解決の手助けを行いました。その中には個別の困りごとがきっかけとなり、自らの行政区において生活課題を解決しようとする活動体の組織化の動きもあり、情報提供・助言を行い、会発足の支援を行いました。一方で、小地域での福祉活動を推進する福祉社会活動については、福祉社会研修等を実施するなど支援を行っていますが、新しい福祉社会の設立、福祉社会活動の一層の活性化には至っていない現状です。

平成28年度うきは市が制定した『子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援計画』に基づき、平成29年度途中から受託した『子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業』については、事業開始当初市内1小学校の1年生から3年生の児童を対象としてスタートしましたが、平成30年度は、利用する児童の範囲も広がり、3つの小学校の1年生から6年生までの児童11名を受け入れました。あわせて、利用範囲が広がったことを受け、9月からはうきは市福祉事務所子育て支援係の協力を得て、送迎サービスを実施することとなり、より利用しやすい環境が整いました。

生活困窮者自立支援事業については、子どもの学習支援事業の利用者が増加、特に中学3年生については利用者からの要望を受け、高校進学に向けた受験対策を週1回追加開催することとしました。

こうした活動は、先駆的な取組として、県内はもとより、北は北海道、南は沖縄まで、社協職員や行政職員・民生委員児童委員をはじめ多くの関係者からの視察を受け入れると共に、研修会や講演会などでの事例発表を行い、高い評価を受けています。しかしながら、これに甘んじることなく、市民の皆様からの高い信頼と評価を得られるよう、今後も役職員一同一丸となって地域生活課題の解決と地域福祉の向上に取り組んでいきます。

I 総務企画部門

《総務係・経理係》

1. 法人運営

(1) 住民主体による経営と実践

①理事会【全6回】次の日程・内容にて、理事会を開催しました。

回数	期日	出席 理事/監事	議案
第134回	H30.5.31	10/2	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告及び決算報告について 選出母体役員の交代に伴う新たな理事候補者の選出について 選出母体役員の交代に伴う評議員候補者の推薦について 評議員選任・解任委員会の開催について 評議員会の開催について 平成30年度資金計画について 諸規程の改正について
第135回	H30.6.21	10/2	<ul style="list-style-type: none"> 人権・同和对策審議会委員の推薦について 経理規程改正(案)について
第136回	H30.9.21	11/2	<ul style="list-style-type: none"> 諸規程の制定及び改正について 障害者就労支援事業旧労働会館の建て替えについて
第137回	H30.12.14	9/2	<ul style="list-style-type: none"> 諸規程の改正について 歳末たすけあい事業について
第138回	H31.2.26	11/2	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度うきは市受託事業について 平成31年度嘱託職員の採用について
第139回	H31.3.22	9/2	<ul style="list-style-type: none"> 定款変更について 事務局規程の改正について 平成31年度正規職員登用者について ワークサポート白鳥の家作業棟の改築について 平成31年度事業計画(案)及び収支予算(案)について

[会場：うきは市総合福祉センター]

②評議員会【全2回】次の日程・内容にて、評議員会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席/総数	議案
第50回	H30.6.21	18/24	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告及び決算報告の承認について 理事の選任について
第51回	H31.3.28	17/24	<ul style="list-style-type: none"> 定款変更について 平成31年度事業計画(案)及び資金収支予算(案)について

[会場：うきは市総合福祉センター]

③監査【全5回】次の日程・内容にて評議員会を開催しました。

回数	期日	出席者 出席/総数	監査事項
第1回	H30.5.21	2/2	平成29年度決算監査
第2回	H30.7.27	2/2	平成30年度第1期監査(4月～6月)
第3回	H30.10.25	2/2	平成30年度第2期監査(7月～9月)
第4回	H31.1.21	2/2	平成30年度第3期監査(10月～12月)
第5回	H31.3.22	2/2	平成30年度第4期監査(1月～2月)

[会場：うきは市総合福祉センター]

④会長・副会長会【全6回】次の日程・内容にて、会長・副会長会を開催しました。

回数	期日	出席者	主な議題
第1回	H30.5.25	3/3	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度事業報告及び決算報告について 理事及び評議員選任候補者の選出について 諸規定の改正について 次回理事会提案事項について 評議員選任・解任委員会の開催について 次回評議員会の開催について その他
第2回	H30.7.30	3/3	<ul style="list-style-type: none"> 平成31年度職員体制について 障害者就労支援事業（ワークサポート白鳥の家）について 今後のスケジュールについて 次回理事会の開催について その他
第3回	H30.9.13	3/3	<ul style="list-style-type: none"> 諸規定の制定及び改正について 障害者就労支援事業旧労働会館の建て替えについて 平成30年度金婚祝福の会について 平成30年度共同募金運動について 次回理事会の開催について 今後のスケジュールについて その他
第4回	H30.12.11	3/3	<ul style="list-style-type: none"> 諸規定の改正について 平成30年度共同募金実績中間報告 歳末たすけあい募金及び配分事業について 平成31年度嘱託職員の正規職員登用及び嘱託職員採用について 募金集会及び年頭献血出務分担について 次回理事会の開催について 今後のスケジュールについて
第5回	H31.2.9	3/3	<ul style="list-style-type: none"> 確認事項 正規職員（看護職）の採用について 理事会提案事項について 今後のスケジュールについて
第6回	H31.3.18	3/3	<ul style="list-style-type: none"> 定款変更について 事務局規定の改正について ワークサポート白鳥の家作業棟（旧労働会館）の改築について 平成31年度事業計画（案）及び収支予算（案）について 理事会提案事項について

[会場：うきは市総合福祉センター]

⑤評議員選任・解任委員会【全1回】

回数	期日	出席者 出席／総数	内 容
第3回	H30.6.12	5/5	・選出母体の役員変更に伴う新たな評議員の選任について

[会場：うきは市総合福祉センター]

⑥新任役員、評議員の研修の実施

期日	参加人数	内 容
H30.7.20	8名	<ul style="list-style-type: none"> 事務局説明（社協の組織、運営、各課の業務内容） 各事業所の見学

[会場：うきは市総合福祉センター]

⑦ 役員の県社協等主催研修会への参加

期 日	会場	主催者	参加人数	研修テーマ
H30.9.6～7	ヒルトン福岡 シーホーク	九州社会福祉協議会 連合会他	8名	九州ブロック地域福祉研究会議 『新たな協働による地域福祉のありかた』 ～地域でつながるアイデアと展開～

(2) 法人の健全経営

- ① 社会福祉法その他関係法令、内部諸規程に則った適切な経営
 - ・社会福祉法及び関係法令・通知の改正に伴う諸規程の改正
 - ・社会貢献に係る規則の制定
 - ・新規事業に伴う運営規程の制定
- ② 顧問税理士の助言及び社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務
 - ・消費税及び法人税納付関連事務
- ③ 顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理
 - ・無期雇用転換ルールの特例措置手続き実施
- ④ 職員安全衛生推進委員会による働きやすい職場環境づくり
 - ・安全衛生推進委員会の開催（8月、2月）
 - ・アドバイザー・保健師による職場巡回（8月、2月）
 - ・「こころと体の相談」の実施
 - ・健康診断要検診者への受診指導
- ⑤ 監事による定期監査
 - ・資金運用計画に基づく経営状況の確認
 - ・職員時間外労働の確認
- ⑥ 第三者委員による苦情相談会開催（奇数月）

(3) 財政基盤の強化

- ① 社協会員の拡大…地域や関係団体への説明の機会を設け、会員加入促進を図りました。

ア. 住民会員、賛助会員

地区名	住民会員			賛助会員		会費計
	(加入世帯 / 総世帯)	加入率	会費	加入口数	会費	
妹川	128/147	87.1%	64,000円	94口	47,000円	111,000円
新川	98/134	73.1%	49,000円	38口	19,000円	68,000円
田籠	42/59	71.2%	21,000円	45口	22,500円	43,500円
小塩	177/234	75.6%	88,500円	50口	25,000円	113,500円
山春	723/885	81.7%	361,300円	509口	254,500円	615,800円
大石	655/946	69.2%	327,500円	485口	242,500円	570,000円
御幸	1,676/2,426	69.1%	837,540円	814口	406,995円	1,244,535円
千年	521/1,584	32.9%	256,900円	157口	78,500円	335,400円
吉井	1,094/1,661	65.9%	547,000円	139口	69,500円	616,500円
福富	848/1,379	61.5%	393,500円	137口	68,500円	462,000円
江南	669/1,071	62.5%	327,100円	67口	33,500円	360,600円
市外				23口	11,500円	11,500円
合計	6,631/10,526	63.0%	3,273,340円	2,558口	1,278,995円	4,552,335円

※住民会費は一世帯500円、賛助会費は1口500円ですが、募金と混同して入金があるため金額に端数が出ています。

※総世帯数は、区長文書配布数となっています。

イ. 団体会員（1団体 年会費5,000円）

- 社会福祉法人両筑福祉会（浮羽学園）
- 社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）
- 社会福祉法人凶南会（えびね荘）
- 社会福祉法人遊林福祉会（遊林愛児園）
- 社会福祉法人ふたば会（水月吉井）
- 社会福祉法人素王福祉会（エバーガーデンうきは）
- 社会福祉法人幸輪会（うきは幸輪保育園）
- 特定非営利活動法人みつば会（浮羽共同作業所）
- 絆データシステム株式会社
- 合計 9団体 45,000円

（4）職員育成と職員体制の充実

①研修計画に基づいた職員育成研修の実施

- ・職員全体研修（H30.4.16）
内 容：平成30年度事業計画について（各課より説明）
参加者：60名
- ・新任職員接遇研修（内部講師）（H30.5.25）
参加者：4名
- ・現任職員研修（入職3～5年程度を対象）
内 容：レポート提出、グループ討議、研修報告
参加者：10名
- ・職員全体研修災害ボランティアセンター図上訓練（H30.7.9）
演 題：「災害VC開設を踏まえた社協のBCMについて」
講 師：NPO法人さくらネット 石井 布紀子 氏
参加者：78名
- ・安全運転講習会（H30.8.21）
演 題：「高速道路における事故防止」
講 師：損害保険ジャパン日本興亜(株) 主査 鶴田 裕子 氏
参加者：29名
- ・介護業務従事者研修（感染症対策研修）（H30.9.10）
演 題：「HIV、エイズって何？」
講 師：久留米大学医学部 呼吸器・神経・膠原病内科 富永 正樹 氏
演 題：「明日から出来る感染症対策」
講 師：久留米大学医学部 感染制御部 副部長 三浦 美穂 氏
参加者：20名
- ・人権研修（H30.11.2）
演 題：「一人ひとりの人権が尊重される男女共同参画の実現」
講 師：福岡県男女共同参画審議会委員 中嶋 玲子 氏
参加者：55名
- ・全体研修（H31.2.1）
演 題：「職場に生かすアンガーマネジメント」
講 師：肥後ビジネス教育(株) ビジネスマナー室長 今村 ゆか 氏
参加者：58名

②人材確保を目的とする職員処遇改善

- ・常勤嘱託職員への住宅手当の支給（H30.10.1～）

③職員の福祉資格取得促進

- ・資格取得及び更新研修費用の助成 4名

④専門職員配置の充実

- ・平成31年度新規採用職員選考

2. 各部門の総合調整、活動支援

(1) 管理職会議 (月1回)

毎月1回定例にて会長以下、事務局長、課長、課長補佐、係長、管理者を招集し管理職会議を開催。事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議しました。

(2) 緊急災害時の対応

平成29年の九州北部豪雨災害における被災地支援及び災害ボランティアセンターでの活動、災害時対応に関する研修を基に緊急・災害対策検討委員会において、「緊急・災害時対応マニュアル」及び「災害ボランティアセンターマニュアル」の見直しを実施しました。また、連携協働推進担当職員において、災害時における利用者への安否確認について検討し、利用者名簿の見直しを行うとともに、安否確認フローチャートを作成、これを基に緊急・災害対策検討委員会にて協議し、「緊急・災害時対応マニュアル」に追加掲載しました。

3. 福祉給食

(1) 「食」の自立支援事業(市受託事業)

利用者の年間延べ人数は、前年度比+231名、延べ配食数は+6,247食となり、当初の配食計画数(37,000食)を、大幅に上回りました。新規の利用者は56名。配食数増の要因として、一人暮らし高齢者で、調理ができない方や交通手段がなく買い物に行くことができない方、退院時に一時的に調理の不安がある方の増加が見られます。配食利用により、栄養面から健康状態が回復されて、買い物に行けるようになった方、調理を出来るようになった方もおられて、在宅生活での自立支援につながっています。

献立については、栄養士が食材費を抑えつつ、地産地消を基本に季節感を味わって頂く工夫や栄養管理を行いました。

調理については、利用者の状態に応じ、おかゆや刻み食にしたり、服薬等により禁食がある方については、献立内容を一部変更して対応しました。また、配食も玄関口まで出てこれられない方は居室まで届けたり、弁当箱を洗うことができない方や犬猫を屋内で飼っている方は、衛生面に考慮し使い捨ての弁当箱(利用者負担)を使用したりするなど、利用者にあった対応を取りました。

安否確認については、配食時に確認できなかった方には、不在連絡用紙を添え、帰宅したら電話を頂くようにし、連絡がない場合は、本人及び親族や関係者へ連絡を取るなど、確認の徹底を図っています。平成30年度においても、配食時に応答がない為、家族に連絡し自宅で倒れているところを発見され救急搬送となったケースや、ベッドから落ち倒れているところを配食時に発見し救急車の手配をして大事に至らずに済んだケース、ベッドに足が挟まり気分が悪くなり動けなくなっているところをを発見し大事に至らずに済んだケース、利用者の体調不良で家族に連絡し入院されたケース等がありました。安否確認においては、平素より関係機関と連絡相談等を行い、食の面から利用者が健康で安心した生活を送れるように努めてきました。

このように食の面から利用者の健康を支えるとともに、配達時の声かけや安否確認、平素から関係機関との連絡や相談等を行いながら、住み慣れた地域で自立した生活が送れるよう支援を行いました。

□配食日 : 月曜日～土曜日(但し、8/14・15、12/30～1/3を除く) 昼食と夕食

□利用者負担: 1食400円(但し、生活保護受給者1食300円)

□活動体制 : 調理 給食員4名

献立 栄養士(調理兼務)

配食 給食員とボランティア(33名登録、H31.3月末現在)

□配食コース: 昼食4コース(内、ボランティア 月・金・土3名、火・水・木2名)

夕食7コース(内、ボランティア 月～土5名)

【食の自立支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	119	122	126	134	139	134	137	135	130	129	126	121	1,552
実施日数	25	27	26	26	25	25	27	26	25	24	24	26	306
配食数	昼食	1,172	1,227	1,193	1,285	1,280	1,297	1,406	1,348	1,209	1,188	1,121	14,856
	夕食	2,297	2,541	2,427	2,555	2,521	2,527	2,791	2,693	2,492	2,355	2,307	29,931
	合計	3,469	3,768	3,620	3,840	3,801	3,824	4,197	4,041	3,701	3,543	3,428	44,787

【利用者区分 (H31.3 月末現在)】

区 分	一人暮らし高齢者	高齢者夫婦	障がい者	その他	合 計
利用者数	95 名	21 名	2 名	3 名	121 名

(2) あったか宅配サービス (ふれあいのまちづくり推進事業)

利用者、市の要望を受けて、市の「食の自立支援事業」を利用していたが、中止となった方や申込みをしたが該当しなかった方で、食の確保が必要と認められた方に、健康で自立した生活を送ることができるよう支援しました。

□利用者負担 / 1食 500円

【あったか宅配サービス実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	14	14	12	14	14	13	13	9	10	8	8	8	137
配食数	252	261	238	252	262	235	234	187	161	165	163	171	2,581

※実利用者数 16名

4. 管理・経営 (指定管理)

(1) うきは市総合福祉センター

うきは市総合福祉センターが施設の目的に従って利用促進が図られるように努めました。

【うきは市総合福祉センター利用実績】

	開館 日数	一般用貸出室				その他の 部 屋	総利用者数
		利用料免除団体		一般利用			
		団体数	人数	団体数	人数		
年間計	289 日	278 団体	5,026 人	35 団体	438 人	5,109 人	10,573 人
月平均	24.1 日	23.2 団体	418.8 人	2.9 団体	36.5 人	425.8 人	881.1 人
1日平均	—	1.0 団体	17.4 人	0.1 団体	1.5 人	17.7 人	36.6 人

5. 福祉車両、福祉用具の無料貸出 (地域福祉部門との協働)

(1) 福祉車両の無料貸出

普通の車での外出移動が困難な方へ、社協の福祉車両を無料貸出しました。(但し、燃料費自己負担)

・平成 30 年度 延利用件数 35 件

(2) 福祉用具無料貸出

①福祉用具無料貸出

在宅で介護をおこなっておられる方々を支援するために、社協保有の福祉用具の貸出を行いました。

【福祉用具の貸出状況】

貸出用具	貸出件数	貸出用具	貸出件数
車いす	86 件	松葉杖	3 件
介護用ベッド	2 件	シャワーチェア	5 件
ポータブルトイレ	20 件	杖	3 件
歩行器	6 件	押し車	8 件
合 計		133 件	

②老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施

うきは市老人クラブ連合会の協力により、毎月当番を決め福祉用具の点検を実施いただいています。これにより、福祉用具が安心して利用できる状況になっています。

【老人クラブ奉仕部による福祉用具の点検実施状況】

点検実施会場	点検回数	協力延人数
うきは市総合福祉センター	9 回	32 人
うきは市民センター	3 回	4 人
合 計	12 回	36 人

6. 公益事業（葬祭事業）

誰しも訪れる死に対し、華美な飾り付けや出費をあおらず荘厳で丁寧な葬儀を低額で提供できるようにサービスの充実に努めました。また、広報や地域会合を通して社協の葬祭事業について、市民への周知を図りました。

(1) 自宅、集会所、寺院、斎場での葬儀の実施状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
自宅・寺院葬	3	4	2	2	1	0	1	1	0	3	0	0	17	
斎場葬	本館	10	10	4	8	8	12	8	4	11	11	7	12	105
	和室	0	0	0	1	0	0	0	2	1	2	2	1	9
	別館	6	7	4	6	9	3	7	6	5	8	7	5	73
	小計	16	17	8	15	17	15	15	12	17	21	16	18	187
直葬	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
合計	19	21	11	17	18	15	16	13	17	24	16	18	205	
(内市外者)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2	
市内死亡者数	38	46	38	37	45	24	39	26	30	54	40	36	453	
市内利用率	50.0%	45.7%	28.9%	43.2%	40.0%	62.5%	41.0%	50.0%	56.7%	42.6%	40.0%	50.0%	44.8%	

① 斎場葬の実施に伴うサービス提供

- ・無料送迎バスの実施・・・116件（利用率 62.0%）
- ・無料朝食提供の実施・・・136件（利用率 72.7%）

(2) 葬祭事業運営委員会

期 日	会 場	出席者	議 題
H30.7.11	うきは斎場本館おとき室	委員 9 名	・斎場折込チラシ ・設備改修・増設について
H31.2.1	うきは斎場本館おとき室	委員 10 名	・施設整備について ・葬祭事業への意見・提言

・委員会の提言事項

- ①一層の吉井町域住民への周知と啓発をお願いしたい。
- ②家族葬（和室）の充実と利用者に優しい葬儀をお願いしたい。
- ③故人の希望に添える取り組みと、遺族に寄り添う福祉葬儀の充実を図ることをお願いしたい。

(3) 葬祭事業の周知

- ①広報誌へのチラシの折り込み。2回（7、12月号）

(4) 施設整備改修等

- ①ファックス回線増設
- ②本館自動ドア改修
- ③本館側駐車場街灯改修及びライン引き（障がい者用駐車スペースの増設）
- ④送迎バス運転手ユニフォーム整備
- ⑤東屋補修及びベンチ入替

7. 西日本豪雨災害支援

平成30年7月に発生した西日本豪雨災害については、九州ブロック社会福祉協議会連合会の要請に基づき、広島県坂町へ災害ボランティアセンターのスタッフとして職員を派遣しました。

この他、職員の自主的な活動として、ボランティアを募り被災地での支援活動も実施しました。

(1) 職員派遣状況

派遣先	延日数	延人数	主な活動内容
坂町（広島県）	4日	4人	ニーズ調査、マッチング、資材貸出

(2) ボランティア活動状況

支援先	日数	延人数	車 輛
久留米市	2日	12人	5台
坂町(広島県)	2日	8人	1台
合 計	4日	20人	6台

※久留米市内の活動については、必要な資材、車両(軽トラ)を持ち込み活動を実施。

《企画調整係》

1. 調査・企画・広報事業

行政や関係機関より福祉に関する統計情報(データ)を収集し、うきは市の福祉の全体像を把握すると共に、福祉座談会や各部会活動・アンケート等を通して福祉課題を拾い上げます。

また、広報やホームページなど様々な媒体により地域福祉の情報を発信し、啓発活動を行い、社協の見える化を推進しました。

(1) 「ふくしのかわら版」を活用したアンケートの実施

市民からの声を拾い上げるために、ふくしのかわら版(6月号、9月号、3月号)を活用し、郵送形式の意識調査を実施しました。(3通)

また、ホームページにもお問い合わせのページを設けました。(2通)

なお送付いただいた内容については、事務局での検討対応、市への取り次ぎ、あるいは地元の民生委員等と連絡を取り、状況確認と支援をおこないました。

(2) 年次調査統計要覧の作成

うきは市の人口・世帯の増減や高齢率・年少率等の参考データを算出するために、市福祉事務所福祉係を介して、情報処理係に依頼し、うきは市基本データを集積しました。

また、「年次調査統計要覧」の作成に伴い、福祉にかかる調査の結果や、人口、人口動態、高齢率等のうきは市勢の状況等のデータを集積しました。

(3) 社協だより「ふくしのかわら版」の編集発行(年12回、共同募金配分事業)

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の福祉意識の啓発に関する事などを、うきは市民にお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

(4) ホームページの管理・運営(毎月1日、15日に定例更新、共同募金配分事業)

定期広報誌については発行に併せて月2回更新を行いました。また、ホームページ中のカレンダーには、随時、社協事業など新鮮な情報を掲載しました。

(5) フェイスブック・ツイッターの管理・運営

フェイスブック・ツイッターなどを通して、地域福祉の情報提供や啓発活動を行い、社協活動の見える化を推進しました。(フォロワー数/フェイスブック816、ツイッター435)

(6) 広報車・防災無線(行政放送)の活用

たすけあい献血活動などを広報するために、市役所の広報カーを活用しました。また、社協の相談窓口や献血活動などをお知らせするために、市役所防災無線を活用させて頂きました。

(7) 住民啓発資材(社協名入り入浴剤、各種パンフレット等)

社協の連絡先や相談窓口を啓発するための資材として、入浴剤、ボールペン、クリアファイルなどを作成配布しました。

(8) 福祉座談会の実施

社協活動や地域福祉活動計画、保健福祉動向について、区の常会等にて説明を行い、地域福祉の啓発活動を行いました。(実施回数2回)

期 日	地域及び団体名
H30.4.21	千年校区区長会
H30.6.16	御幸通区

2. 介護予防・生活支援体制整備事業（市受託事業）（地域福祉部門との協働）

(1) 「協議の場」づくりのための勉強会開催状況

うきは市では地域包括ケアシステムの構築に向けて、これまでのうきは市の支えあいの仕組みや活動を生かしながら、介護予防・生活支援・社会参加を一体的に捉え、「お互いさま」の気持ちを地域の中で具体的な仕組みにしていくという視点から、さらに住民主体の「地域づくり」を進めていこうとしています。そこで、地域住民と関係機関・団体（多様な主体）が、地域の課題を一緒に考え、介護予防・生活支援・社会参加の活動の充実に向け、多様な主体による多様なサービスが提供できるよう「協議の場（協議体）」設置に向け、多様な主体による多様なサービスが提供できるよう「協議の場」づくりを平成28年度から旧小学校区単位での勉強会を順次開催しています。

平成30年度は妹川地区・福富地区がこの勉強会に取り組みました。なお、妹川地区については協議の場へ移行し、今後「居場所づくり・移動・生活支援」について話し合いを行っていきます。福富地区については平成31年度4月より協議の場へ移行し、「見守り」をテーマに話し合いを行っていく予定です。

【妹川地区協議の場づくりのための勉強会】

回 数	期 日	参加者	内 容
第1回	H30.6.19	31名	・地域包括ケアシステム、うきは市の現状について ・グループワーク「妹川地区にあったらいいこんなもの・こんなこと」
第2回	H30.7.25	28名	・体の健康？心も健康？介護予防ってなんだろう？
第3回	H30.8.28	21名	・地域の宝探しマッピング（居場所について） ・乗合タクシーについて（うきは市企画財政課企画調整係）
第4回	H30.10.25	24名	・「助けること、助け合えることを考えてみよう」 ～地域の取り組みから～ ①送迎理美容について 榎ヶ平区 松岡 富士子 氏 ②よりあい・げんき塾について 尼ヶ瀬区 國武 トキエ 氏
第5回	H30.11.29	28名	①まとめの話、レーダーチャート ②今後の協議の場について ③妹川地区地域支え合い推進員の紹介
視察	H31.2.5	15名	大分県国東市熊毛地区視察研修
視察	H31.2.24	20名	熊本県阿蘇市波野地区「阿蘇なみの高原 やすらぎ交流館」 大分県日田市上津江・中津江地区「NPO 法人つえ絆クラブ」
推進員 会議	H31.3.5	14名	妹川地区第2層地域支え合い推進員会議 ①2/5（火）、2/24（日）視察の振りかえり ②スクールバスの活用など今後の取り組みについて

【福富地区協議の場づくりのための勉強会】

回 数	期 日	参加者	内 容
第1回	H31.1.22	41名	・うきは市の現状、地域包括ケアシステムについて ・福富地区の現状について ・グループワーク「福富地区にあったらいいこんなもの・こんなこと」
第2回	H31.2.5	31名	「一体感のある福富を目指して」～地域の居場所のチカラ～ ・介護予防について うきは市保健課 ・居場所活動を通じて感じること 東福益区 山下 高子 氏 ・グループホームと地域との連携について グループホームひまわり3号館 館長 妹川 誠 氏 ・グループワーク「健康寿命を延ばすために自分でできること、地域でできること」

回数	期日	参加者	内容
第3回	H31.2.19	36名	「福富地区の移動について考える」～今あるもの・これからのこと～ <ul style="list-style-type: none"> ・うきは市の公共交通と運行・送迎について うきは市企画財政課企画調整係 ・グループワーク ①話を聞いての質問・感想 ②福富地区に今ある移動手段は？ ③これからあったらいいなと思う移動手段
第4回	H30.3.5	34名	「まとめ」～勉強会のふりかえり～ <ul style="list-style-type: none"> ・勉強会のふりかえり 第1層地域支え合い推進員 ・グループワーク「福富地区で取り組みたいこと」 ・レーダーチャート ①福富地区に足りているもの・足りていないもの ②福富地区で今後取り組んでみたいこと

(2) 第2層協議の場の開催状況

協議の場づくりのための勉強会が終わった地区より、各地区での協議の場として話し合いの場へと移行し、下記の通り実施されました。また、江南地区、御幸地区、妹川地区については、配置された第2層地域支え合い推進員によって、協議の場の進行等が行われ、その開催支援等を行いました。開催状況は下記のとおりです。

【江南地区協議の場「かたらんね～江南」開催状況】

回数	期日	参加者	内容
第6回	H30.5.18	15名	<ul style="list-style-type: none"> ・移動協議の場（かわかみ絆の会）のふりかえり ・副市長より市内公共交通会議について説明 ・グループワーク ①ふりかえりを聞いての感想・意見交換 ②江南地区ならどんなことができそう？ ③そのためにはどんなことが必要？
第1回小委員会	H30.6.6	8名	江南地区協議の場「かたらんね～江南」小委員会 五庄屋の会① <ul style="list-style-type: none"> ・移動に関するアンケートの検討（対象者について） ・国庫補助について
第2回小委員会	H30.6.13	7名	江南地区協議の場「かたらんね～江南」小委員会 五庄屋の会② <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート内容の検討 ・アンケートの取り方について
第3回小委員会	H30.6.26	7名	江南地区協議の場「かたらんね～江南」小委員会 五庄屋の会③ <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート案作成 ・今後のスケジュールについて
第7回	H30.7.13	14名	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートについて五庄屋の会より提案 ※乗って楽しい降りて楽しいすこやかで長寿アンケートの実施（7～8月）
第8回	H30.9.21	39名	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの報告、今後について ※第8回より東、大熊地域支え合い推進員が司会、説明を行う。
第9回	H30.11.16	21名	<ul style="list-style-type: none"> ①移動手段の進捗状況 ②かたらんね食堂について ③ハンディ移送サービスについて 講師／ハンディ移送サービス 鑓水格氏
小委員会視察	H30.12.17	14名	江南地区協議の場「かたらんね～江南」小委員会（自治協議会役員）視察研修 佐賀県佐賀市大和町 <ul style="list-style-type: none"> ・NPO 法人かわかみ絆の会の取り組みについて
第4回小委員会	H30.12.22	4名	江南地区協議の場「かたらんね～江南」小委員会 <ul style="list-style-type: none"> ①第10回協議の場の内容について ②江南地区の移送に関する検討項目について
第10回	H31.1.18	23名	<ul style="list-style-type: none"> ・佐賀県「かわかみ絆の会」への視察報告（大熊地域支え合い推進員） ・かたらんね食堂実施報告（自治協女性部今村氏、手島氏） ・グループワーク（進行：東地域支え合い推進員） ①車両や活動するグループの名称 ②「江南地区における移送について（案）」の各項目検討 ③資金面について
第11回	H31.3.15	17名	<ul style="list-style-type: none"> ・移送サービスの検討経過、試行状況（大熊地域支え合い推進員） ・グループワーク（進行：東地域支え合い推進員） 「これからのかたらんね～江南で話し合いたいこと」

【御幸地区協議の場「みゆき28」開催状況】

回数	期 日	参加者	内 容
第5回	H30.5.16	57名	<ul style="list-style-type: none"> ・事例報告「いきいきサロンの取組について」 報告者/いきいきサロン代表 代表 淵上 貞雄 氏 副代表 森山 博光 氏 ・グループワーク ①「事例報告を聞いての感想・意見」 ②「どうやったら居場所づくりが広まっていくだろう？」
第6回	H30.6.20	39名	<ul style="list-style-type: none"> ・千足三丁目の公民館開放の取組について 報告者/千足三丁目区分館長 石井 康敬 氏 ・グループワーク ①「話を聞いてみての感想、質問」 ②「あなたの区ではどのように地域の居場所づくりに取り組めますか」
ミニ協議の場 第1回	H30.7.18	27名	御幸地区ミニ協議の場（東隈上学団） 【中町、東町、松本、今川通区】
ミニ協議の場 第2回	H30.7.26	21名	御幸地区ミニ協議の場（流川学団） 【小坂、上流川、下流川区】
ミニ協議の場 第3回	H30.8.8	28名	御幸地区ミニ協議の場（西隈上学団） 【隈の上、川原町、宮本、吉江】
ミニ協議の場 第4回	H30.8.22	29名	御幸地区ミニ協議の場（朝田東学団） 【旭町、朝田原、一の瀬、一の瀬新町、本町、西町、中川原】
ミニ協議の場 第5回	H30.9.5	35名	御幸地区ミニ協議の場（朝田西学団） 【千足一丁目、千足二丁目、千足三丁目、千足新町、大崎、千足四丁目】
ミニ協議の場 第6回	H30.9.19	22名	御幸地区ミニ協議の場（浮羽学団） 【浮羽区、千足五丁目、東浮羽、御幸通】
第7回	H30.11.7	85名	<ul style="list-style-type: none"> ①ミニ協議の場のふりかえり ②協議の場からカタチになったものの報告（参加者より） ③今後の御幸地区協議の場の方向性及び視察研修について
視察	H30.11.28	—	御幸地区協議の場「みゆき28」視察研修 大分県国東市 武蔵西地区「武溪の会」の取組について
視察	H30.12.4	41名	御幸地区協議の場「みゆき28」視察研修 大分県国東市 旭日地区「あさひネット」の取組について
第8回	H30.12.20	—	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の場の振り返り ・国東市視察研修振り返り ・今後の取組について（グループワーク） ①地域支え合い推進員の選任について ②第2層協議の場構成員の検討 ③今後の具体的推進に関する意見
推進員 会議	H31.1.22	8名	御幸地区第2層地域支え合い推進員会議 <ul style="list-style-type: none"> ①地域支え合い推進員（8名）委嘱式 ②介護予防・生活支援体制整備事業について ③設置要綱・業務委託について ④協議体の名称と構成について ⑤第2層における事業について
推進員 会議	H31.2.15	10名	御幸地区第2層地域支え合い推進員会議 <ul style="list-style-type: none"> ・支え合い推進会議（代表者会）について ・みゆき28について
推進員 会議	H31.3.20	9名	御幸地区第2層地域支え合い推進員会議 <ul style="list-style-type: none"> ・今後の推進方法について
第9回	H31.3.28	100名	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援体制整備事業（組織・運営）の説明（古賀地域支え合い推進員） ・グループワーク（6学団ごとに2層地域支え合い推進員が進行） ①説明への意見 ②今後さらに充実した方がいい資源や取組についての意見

【大石地区協議の場開催状況】

回数	期日	参加者	内容
第2回	H30.6.28	41名	<ul style="list-style-type: none"> これまでの協議の場の振り返り 協議の場の名称について グループワーク 「皆さんがこれから作っていききたい居場所ってどんなところ？」
第3回	H30.7.19	27名	<ul style="list-style-type: none"> 福津市の取組について視察 (サンクス、協議体の取組、水光松風つどいの場みどり)
第4回	H30.9.14	31名	<ul style="list-style-type: none"> 福津市視察振り返り、居場所づくり

(3) 第1層協議の場の開催状況

第2層協議の場及び各地区での取り組みの情報共有や課題提起等を目的とし、第1層協議の場を下記の通り開催しました。「PPK（びんびんころり）のために地域で何ができるのか？」をテーマに、介護予防・生活支援・社会参加について考えました。

【第1層協議の場開催状況】

回数	期日	参加者	内容
第2回	H30.6.12	45名	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉計画、地域福祉活動計画について エフコープの居場所づくりの取り組み グループワーク ①居場所づくりで困っていること ②企業・事業所と一緒にやりたいこと ・コメンテーター／さわやか福祉財団 阿部 かおり 氏、竹下 順一 氏
第3回	H30.11.13	45名	<ul style="list-style-type: none"> テーマ／江南地区協議の場「かたらんね～江南」について ～アンケートを通して感じる～ 報告者／江南地区自治協議会会長 末金 良幸 氏 江南地区地域支え合い推進員 大熊 孝則 氏 グループワーク ①報告を聞いての感想 ②自分の地区での取り組みについて ・コメンテーター／さわやか福祉財団 阿部 かおり 氏、竹下 順一 氏
第4回	H31.3.12	58名	<ul style="list-style-type: none"> テーマ／「御幸地区の取り組みについて」 報告者／御幸地区自治協議会会長 佐藤春義氏 御幸地区地域支え合い推進員 古賀恒徳氏 グループワーク ①質問・感想 ②居場所についての現状、これから取り組みたいこと ・コメンテーター／さわやか福祉財団 阿部 かおり 氏、竹下 順一 氏

(4) 協議体設置に係る市・社協連絡調整会議

うきは市地域包括支援センター（市保健課地域包括支援係）と連携し、協議体設置に係る「市・社協連絡調整会議」を下記の通り実施しました。また、生活支援体制整備と我が事・丸ごとの地域づくり推進事業の連携のため、関係者の情報共有の場を実施しました。

回数	期日	参加者	検討内容
第1回	H30.5.14	保健課3名 社協2名	協議の場打ち合わせ ① 5/16 御幸協議の場打ち合わせ ② 5/18 江南協議の場打ち合わせ ③ 6/12 第1層協議の場打ち合わせ ④ 6/28 大石地区協議の場打ち合わせ
第2回	H30.5.22	市民協働 推進課2名 福祉事務所 2名 保健課4名 社協4名	保健福祉全般にかかる打ち合わせ ① 介護予防・日常生活支援体制整備事業について ② 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業について ③ 低所得高齢者等住まい・生活支援事業について ④ 地域福祉計画、地域福祉活動計画について

回数	期日	参加者	検討内容
第3回	H30.5.30	保健課2名 社協2名	協議の場打合せ ①第2回第1層協議の場について ・地域福祉計画・地域福祉活動計画について ・エフコープより受け取りステーションでの居場所づくりについての事例報告 ・グループワーク「企業や事業所と出来そうなことしてみたいこと」 ②山春地区研修会について ③妹川地区協議の場づくりのための勉強会について
第4回	H30.6.6	さわやか福祉財団2名 保健課3名 社協2名	さわやか福祉財団との協議の場打ち合わせ ①平成30年度うきは市介護予防・生活支援体制整備事業の今後の在り方について ②第1層協議の場(6/12)の打ち合わせ
第5回	H30.6.15	保健課5名 社協5名	協議の場打ち合わせ ①第2層の進め方について ②第1層・第2層、社協と市の役割について ③委託契約、仕様書について ④コミュニティ支援係との兼ね合いについて ⑤集いの場とよりあいについて
第6回	H30.7.5	保健課2名 社協2名	協議の場打ち合わせ ①6/12第1層協議の場振り返り ②6/14山春研修会振り返り ③7/19大石地区移動協議の場打ち合わせ ④7/18～御幸ミニ協議の場(学団単位)打ち合わせ ⑤7/25妹川地区勉強会打ち合わせ ⑥7/13江南協議の場打ち合わせ
第7回	H30.7.9	コミュニティ支援係2名 保健課4名 社協4名	第2層業務委託についての打ち合わせ ①業務委託説明の事前打合せ ・うきは市第2層介護予防・生活支援業務委託契約書(案)及び仕様書(案)の内容について ・その他確認事項について
第8回	H30.8.27	保健課2名 社協2名	保健課打合せ ①8/28第3回妹川地区勉強会の内容について ②かたらんね～江南について ③ふれあい大石について ④協議体、地域支え合い推進員設置要綱について ⑤江南地区の業務委託について
第9回	H30.10.11	保健課2名 社協2名	保健課との打合せ ①第1層協議の場について ②第2層協議の場について
第10回	H30.10.16	さわやか福祉財団1名 保健課2名 社協2名	さわやか福祉財団、保健課との打ち合わせ ①第1層協議の場について ②来年度について
第11回	H30.11.21	市民協働推進課2名 福祉事務所2名 保健課4名 社協4名	保健福祉全般にかかる打ち合わせ ①生活支援体制整備事業について ②我が事・丸ごとの地域づくり推進事業について
第12回	H30.12.12	保健課2名 社協2名	協議の場打ち合わせ ①福富地区協議の場づくりのための勉強会について ②妹川地区協議の場づくりのための勉強会振り返り ③第3回第1層協議の場の振り返り ④その他(来年度について)
第13回	H31.1.8	保健課4名 社協2名	保健課・さわやか福祉財団打ち合わせ ①通所Bについて ②第1層協議の場及び第2層協議の場の内容について ③うきは市生活支援体制整備事業の進捗状況と今後の方向性について

回数	期日	参加者	検討内容
第14回	H31.2.4	住環境建設課1名 保健課4名 社協2名	市役所 住環境建設課・保健課・社協打ち合わせ ①大石かわまちづくり事業ワークショップと大石地区協議の場の調整について
第15回	H31.2.6	保健課3名 社協2名	保健課との協議の場打ち合わせ ①福富地区勉強会について（振り返り、3回目について） ②江南地区の取り組みについて ③第1層協議の場について
第16回	H31.2.20	市民協働推進課2名 保健課4名 福祉事務所2名 社協4名	保健福祉全般にかかる打ち合わせ ①生活支援体制整備事業について ②我が事・丸ごとの地域づくり推進事業について
第17回	H31.3.14	保健課4名 社協5名	保健課との体制整備委託契約についての協議 ・契約書、仕様書の見直し ・今後の進め方について ・高齢者保健福祉計画について
第18回	H31.3.29	保健課1名 社協3名	①小塩地区打ち合わせについて ②31年度の生活支援体制整備事業について

(5) 地域資源の開発

平成28年度に、大石地区自治協議会主催で行われた地域福祉講座をきっかけに、生活支援のボランティアグループ立ち上げに向けた検討がなされ、平成29年7月に住民型有償サービス「おいしい絆クラブ」が立ち上がりました。この活動は会員制の互助組織として、大石地区にお住まいの高齢者や障がい者等（利用会員）の生活上の困りごとを地区内に住む住民（協力会員）がお手伝いするというものです。この会の活動がスムーズに行えるように、役員会および協力会員定例会等に参加し、助言を行うなどの活動支援を行いました。

(6) 研修会等の開催状況

地域包括ケアシステムに関する研修会等の開催状況は下記の通りです。

期日	対象者	内容
H30.5.18	ボランティア連絡協議会 会員 49名	ボランティア連絡協議会総会 研修会 ・協議の場について ・地域福祉計画・地域福祉活動計画について
H30.6.14	山春地区福祉委員 65名	山春地区の地域包括ケアシステムを考える研修会（福祉学習会） ・地域包括ケアシステムについて ・介護予防、居場所づくりについて ・グループワーク「山春地区で居場所づくりを進めるためには」
H30.7.5	御幸地区福祉委員	御幸地区福祉委員研修 ・御幸地区協議の場「みゆき28」について
H30.11.11	山春地区住民	山春地区福祉のつどい ・講演／山春地区ですすめる居場所づくり
H30.12.5	山春地区福祉委員	山春地区福祉委員会 ・講演／「山春地区の居場所づくりについて、地域包括ケアシステム・協議の場について」
H31.2.14	新川地区自治協議会 福祉部員 12名	新川地区自治協議会健康福祉部会 視察研修 ・見守り活動について ・地域包括ケアシステム、協議の場の取り組みについて

期 日	対象者	内 容
H31.2.28	福祉委員・民生委員・ボランティア・よりあいコーディネーター 他 65名	みんなが主役の元気な地域づくりセミナー ①講演「地域福祉活動の後輩作り」 神戸医療大学 社会福祉学部 准教授 鈴木 大介 氏 ②地域で実践できるレクリエーション NPO 法人福岡県レクリエーション協会 ③パネルディスカッション「地域福祉担い手確保と育成の工夫」 パネリスト/ ・「にしよだにこネット」(大阪市西淀川区) 代表理事野里地区主任児童委員 福田 留美 氏 ・須玖南地区自治会(春日市) 福祉部長 染川 幸美 氏 コーディネーター/神戸医療大学 鈴木 大介 氏

(7) 地域ケア会議、判定会議への参加について

市が主催する「地域ケア会議」、「判定会議」に地域支え合い推進員が参加し、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討、地域に共通した地域課題や地域に必要な資源の把握等を行いました。

3. 高齢者等住まい・生活支援事業（市受託事業）

(1) 住まいと住まい方に関する相談

市の委託を受け、地域包括ケアシステムの基礎となる「住まい」と「住まい方」を支援する事業として、空き家を活用した住まいに関する相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」（吉井町 1097 番地 1）を整備し、高齢者等の住み替えや住宅改修等の相談に応じました。

平成 27 年度の事業開始からの住み替えに関する実相談者数は 60 件です。高齢者だけでなく、障がいをお持ちの方や生活困窮者自立支援事業に該当するような方、被災者、外国の方等の相談もありました。ただし、紹介した民間住宅の家賃（3 万円台）を負担するのが難しい事例が多い状況で、平成 30 年度は民間住宅への斡旋を 2 件行いましたが、住み替えには至りませんでした。

その他の相談としては、介護保険サービスの相談、自宅の老朽化、隣家とのトラブルについて等、相談が多岐にわたっています。また、ゴミ屋敷のような、いろんな課題が重複しているような相談もあり、関係機関との連携がより必要となってきています。また、相談支援の拠点につどいの場を併設しているため、ちょっとした心配ごとや介護ストレスを抱えている来所相談も増え、「まちの保健室」的な役割も大きくなってきています。

【住まいと住まい方に関する相談実績】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	内初回相談 (再掲)
電話相談	6	6	4	10	6	9	4	11	6	6	6	7	81	11
来所面談	11	11	13	9	15	9	9	14	9	3	10	9	122	19
訪問面談	3	7	1	2	2	2	2	3	1	3	0	0	26	3
文書での相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	26
合 計	20	24	18	21	23	20	15	28	16	12	16	16	229	59

【住まいと住まい方に関する相談対応実績】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
関係機関との調整	7	2	5	1	2	4	6	11	5	3	0	5	51
住まいの斡旋・マッチング	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
生活支援サービスの調整等	1	4	0	4	1	2	1	3	1	0	0	0	17
合 計	9	6	5	5	3	6	7	15	6	3	0	5	70

【住まいと住まい方に関する相談内容詳細】 ※ 1 件の相談で 2 つの相談があれば 2 件でカウント

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
住み替えに関する相談	3	3	1	0	1	1	3	4	2	3	2	2	25
転宅費用等に関する相談	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
住宅改修に関する相談	1	0	1	0	0	1	0	3	0	0	0	0	6
その他	17	31	22	27	26	23	13	25	17	11	18	14	244
合 計	21	34	25	27	27	25	16	32	19	14	20	17	277

※その他の主な相談

- ・心配ごとについて
- ・仕事について
- ・障がい者サービスについて
- ・被災者への対応について
- ・悪質商法について
- ・就職について
- ・物忘れについて
- ・デイケアについて
- ・家の片付けについて
- ・集いの場について
- ・ヘルパーの利用について
- ・家の名義変更について
- ・詐欺について
- ・生活保護について
- ・かわはらさんちの利用について
- ・体調について
- ・送迎について
- ・介護について
- ・家族関係について
- ・家財の処分について
- ・金銭管理について

(2) つどいの場かわはらさんち

相談支援の拠点「つどいの場かわはらさんち」は、高齢者等のふれあい交流の場として開放し、うきは市の出前講座の活用や、地域住民、ボランティアのご協力を得て、イベント等も行いました。

【かわはらさんち利用状況】

年齢層	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
75歳以上	105	83	104	78	97	103	125	111	98	84	110	98	1,196
65歳～74歳	8	0	12	3	6	10	11	5	1	2	5	11	74
15歳～64歳	15	13	41	21	9	19	26	21	9	6	19	7	206
15歳未満	0	1	25	23	3	1	0	0	0	2	2	0	57
合計	128	97	182	125	115	133	162	137	108	94	136	116	1,533
見学者(別掲)	0	0	0	8	0	5	0	0	4	1	1	2	21

(3) 居住支援協議会への参画

うきは市でも住宅確保要配慮者（低額所得者、被災者、高齢者、障がい者、子供を育成する家庭その他住宅の確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居の促進を図ることを目的に設置される居住支援協議会の設置が検討され、平成30年12月に設置されました。

今後、高齢者等が住み慣れた地域で最期まで暮らしていけるよう、住まいと生活支援に関わる課題を解決していくために、不動産事業所や関係機関とのネットワークを生かしながら、今後も連携体制を継続しながら住まいの支援を行っていきます。

期 日	内 容
H30.7.27	居住支援協議会設立検討委員会
H30.12.3	第1回居住支援協議会

4. 地域公益活動についての研究・実施（地域福祉部門・在宅福祉部門との協働）

地域福祉活動や在宅福祉事業など様々な社協の取り組みの中から見えてくる新たなニーズや既存の制度では解決できない課題を解決するため、福岡県内の社会福祉法人が連携して、地域の支援を必要とする方に対する相談支援活動である「ふくおかライフレスキュー事業」に参加しました。

ふくおかライフレスキュー事業とは、関係機関との連携を行い、相談活動を行う中で、支援を必要とする方の心理的不安の軽減を図るとともに、必要な制度やサービスにつなぐもので、生活保護等の既存制度では即応できない方で、経済的困窮により生活必需品や社会的サービスの利用が阻害されている方がいる場合、その費用等を現物により支援するものです。

【ふくおかライフレスキュー事業支援実績】

対象者	相談経路	初期相談内容	支援内容	支援金額
40代男性と30代女性の障がい有する夫婦	本人来所	福岡市より就職のため転居、給与支給までの間、手持ち現金がなく生活が困難	当座の食料品、ガソリン等を現物支給	7,883円

5. 市内の社会福祉法人との連絡調整・協働

平成26年11月14日に、うきは市内の社会福祉法人が集まり、地域公益活動の研究・意見交換を行い、その結果、地域福祉の増進に寄与することを目的に、市内7法人で「うきは市社会福祉法人連絡協議会」を発足しました。

平成30年度については、うきは市内の全社会福祉法人9法人が協働で社会貢献活動に取り組みました。

【うきは市社会福祉法人連絡協議会参加法人】

図南会（えびね荘）、ふたば会（水月吉井）、浮羽コロニー（希望が丘）、両筑福祉会（浮羽学園）、遊林福祉会（遊林愛児園）、幸輪会（うきは幸輪保育園）、素王福祉会（エバーガーデンうきは）、ひじり会（ひじり園うきは）、うきは市社会福祉協議会

(1) 代表者会、社会貢献プロジェクト委員会の実施

【うきは市社会福祉法人連絡協議会代表者会】

期 日	会 場	内 容
H30.6.14	うきは市総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 平成 29 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会事業報告 平成 29 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会決算報告・監査報告 平成 30 年度平成 29 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会 4 月～5 月の事業報告 各法人からのお知らせ
H30.10.12	うきは市総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> うきは市社会福祉法人連絡協議会上半期の取り組みについて（報告） うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会について うきは市社会福祉法人連絡協議会規約について
H31.3.11	うきは市総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> 平成 31 年度うきは市社会福祉法人連絡協議会事業計画・予算（案）について うきは市社会福祉法人連絡協議会下半期の取り組みについて（報告） 申し合わせ事項について 公益的取り組みについての調査について

【社会貢献プロジェクト委員会】

平成 30 年度は、各法人から選出された職員 11 名にて、全体の委員会での検討に加え、「景観美化活動小委員会」、「障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会」、「研修会小委員会」の 3 つの小委員会に分かれて検討しました。

期 日	会 場	内 容
H30.5.8	うきは市総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ①平成 29 年度事業報告、振り返り（意見交換） ②平成 30 年度事業計画、地域貢献活動の取り組みについて（意見交換） ③ 5/16 クリーン大作戦うきはについて ④個人宅清掃について〔事例検討〕 ⑤各法人からのお知らせ
H30.10.24	うきは市総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ①上半期の取り組みについて ②社会福祉法人研修会について（役割分担等） ③各小委員会に分かれての打ち合わせ
H31.3.27	うきは市総合福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ①平成 30 年度の取り組みの振り返りについて ②平成 31 年度の取り組みについて（意見交換）

【社会貢献プロジェクト委員会小委員会】

①景観美化活動小委員会

期 日	会 場	内 容
H30.5.8	うきは市総合福祉センター	5/16 開催クリーン大作戦について
H30.10.24	うきは市総合福祉センター	クリーン大作戦！うきは！！について

②障がい者の休日、放課後等の居場所づくり小委員会

期 日	会 場	内 容
H30.5.8	うきは市総合福祉センター	障がい者の居場所作りについて
H30.10.24	うきは市総合福祉センター	障がい者の居場所作りについて
H31.1.29	エバーガーデンうきは	障がい者の居場所作りについて

③研修会小委員会

期 日	会 場	内 容
H30.5.8	うきは市総合福祉センター	今年度の研修会の取り組みについて
H30.10.4	うきは市総合福祉センター	うきは市社会福祉法人連絡協議会第 3 回研修会について
H30.10.24	うきは市総合福祉センター	うきは市社会福祉法人連絡協議会第 3 回研修会について

(2) うきは市社会福祉法人連絡協議会研修会等の協働実施

①不審者防犯対応訓練

平成 28 年 7 月に神奈川県相模原市の知的障害者施設で起こった殺傷事件を受け、この痛ましい事件を忘れることなく、職員の防犯意識向上を図るため、社会福祉法人浮羽コロニー（希望が丘）にて、不審者・防犯対策講話に加えて、施設内に不審者侵入という想定で、その対応策と危機管理を学ぶ不審者・防犯対策訓練を行いました。

期 日	会 場	内 容 等
H30.7.25	浮羽コロニー（希望が丘）	内 容：①不審者対応訓練 ②質問、講話 ③ビデオの視聴 講 師：うきは警察署生活安全課署員 参加者：39 名 ※市職員の参加あり

②うきは市社会福祉法人連絡協議会第 3 回研修会

うきは市社会福祉法人連絡協議会第 3 回研修会では、社会福祉法人三活会 緑の里施設長の安河内達氏より、「これからの社会福祉法人と施設に求められる地域貢献のあり方について」と題してお話いただきました。講師からは、地域における公益的な取り組みの責務とその背景、福岡県下の社会福祉法人が連携して取り組んでいる「ふくおかライフレスキュー事業」の基本的な仕組み、粕屋地区連絡会の取り組みについて、事例を交えてお話いただき、「社会福祉法人が地域の中で果たす役割」について考えました。

また合わせて、うきは市社会福祉法人連絡協議会社会貢献プロジェクト委員会石橋委員長より、うきは市社会福祉法人連絡協議会の取り組みについても報告しました。

事後のアンケートでも、「ライフレスキュー事業に協力しているそれぞれの社会福祉法人の特徴を生かした支援を行うことができていることが事例から分かった。」という意見や「社会福祉法人の意義を改めて考えさせられた。地域における施設の貢献において、様々な可能性を模索して実現出来たら、法人で働く職員のモチベーションの向上に繋がることが素晴らしく思えた。」という意見もあり、自分たちの仕事の意義や必要性も再認識できた研修会となりました。

期 日	会 場	参加者	内 容
H30.10.30	うきは市民センター 小ホール	82 名	①報告「うきは市社会福祉法人連絡協議会の取り組みについて」 社会貢献プロジェクト委員会 委員長 石橋 博明 氏 ②実践報告 「これからの社会福祉法人と 施設に求められる地域貢献のあり方について」 ～ふくおかライフレスキュー事業、 粕屋地区連絡会の取り組みより～ 講師：社会福祉法人三活会 緑の里 施設長 安河内 達 氏（粕屋地区連絡会 会長）

(3) 地域公益活動等の社会貢献活動の取り組み

平成 30 年度についても、社会貢献プロジェクト委員会等で検討しながら、地域公益活動等の取組みを下記のとおり行いました。

①相談体制の充実について

社会福祉法人連絡協議会の各法人で相談支援窓口を設置し、各法人連携しながら相談支援体制を強化するもので、各法人の相談担当者、相談分野を一覧表に取りまとめたものを見直し、各法人の相談員が相談連携に活用しました。また、広報誌や福祉委員委嘱状交付式等の際に、連絡会の取り組みを市民に周知し、活用推進を図りました。

②生活困窮者への物品等の提供について

物品や衣類・フードストックについて、社会福祉法人連絡協議会でも協力をして、社協の活動と一緒に参加するものです。社協より必要な物品についての情報を各法人に提供し、各法人は職員・保護者会等に周知を図り、社協に提供できるものを出し合い協力を行うこととしています。

③景観美化活動について

誰でも参加でき、見えやすい社会貢献活動ではという意見から、「クリーン大作戦うきは!!」として、下記の通り実施しました。

社会福祉法人連絡協議会の職員と活動できる利用者と一緒に、今回は、筑後吉井駅周辺の清掃活動を行いました。5月中旬にしてはとても暑く、休憩を入れながら1時間ほど一生懸命取り組むことができ、駅前の広場がとてもきれいになりました。清掃活動後には、総合福祉センターのほっとスペースにて、かき氷とポップコーンを食べながらの交流会を行いました。暑い中での活動でしたので、かき氷がとても喜ばれました。

10月には昨年同様 JR うきは駅の清掃活動とお花植えを行いました。

施設利用者の方にとってもボランティアを経験し、人から感謝されるという機会となり、また他の施設や地域の方との交流が深められる機会ともなりました。

期 日	場 所	参加者	内 容
H30.5.16	J R 筑後吉井駅周辺	施設利用者 14 名 職員 18 名 合計 32 名	JR 筑後吉井駅の清掃活動 ほっとスペースでの交流活動
H30.11.13	J R うきは駅構内外	施設利用者 11 名 職員 15 名 合計 26 名	JR うきは駅の清掃とお花植え活動 御幸コミュニティセンターでの交流会

④わくわく福祉出前講座（高齢者等の居場所作りの支援）について

保育、児童、障がい、高齢等の各分野で培った知識と人材を活用し、地域公益活動の取り組みとして、域からの依頼により、地域福祉の増進を目的に「わくわく福祉出前講座」を下記の通り開催しました。よりあいやつどの場等で活用いただくことが多く、高齢者等の居場所づくりにつながりました。また、今年度は小学校が授業の一環として活用したり、ボランティアや福祉委員活動の研修等にも活用いただき、福祉教育の推進にもつながっています。

期 日	開催団体・場所	協力法人	内 容
H30.6.20	古川町よりあい	凶南会（えびね荘）	家庭内や地域での認知症の方への接し方について
H30.7.4	上組よりあい	うきは市社会福祉協議会	地域で考える防災のはなし
H30.7.5	下組よりあい	ふたば会（水月吉井）	住み慣れた街で暮らし続けるために ～介護は突然やってくる～
H30.8.23	榎ヶ平よりあい	ふたば会（水月吉井）	住み慣れた街で暮らし続けるために ～介護は突然やってくる～
H30.8.30	田籠よりあい	ふたば会（水月吉井）	住み慣れた街で暮らし続けるために ～介護は突然やってくる～
H30.10.1	上組よりあい	ふたば会（水月吉井）	特別養護老人ホーム 施設見学
H30.10.10	上流川・下流川よりあい	凶南会（えびね荘）	家庭内や地域での認知症の方への接し方について
H30.10.21	小塩地区福祉大会	ふたば会（水月吉井）	住み慣れた街で暮らし続けるために ～介護は突然やってくる～
H30.10.22	御幸小学校4年生	ふたば会（水月吉井）	誰も暮らしやすいまちってどんなまち？ ～年をとるってどんなこと？～
H30.11.29	千年地区自治協議会 福祉部委員会	うきは市社会福祉協議会	配食サービスについてお答えします！ 介護保険のギ・モ・ン
H30.12.12	つどいの場 「かわはらさんち」	ふたば会（水月吉井）	養護老人ホームってなあに？
H31.1.25	つどいの場 「かわはらさんち」	うきは市社会福祉協議会	みんなで体操！
H31.2.13	折敷町よりあい	うきは市社会福祉協議会	配食サービスについてお答えします！ 介護保険のギ・モ・ン
H31.2.17	東高見よりあい	凶南会（えびね荘）	認知症について
H31.2.21	東町よりあい	凶南会（えびね荘）	認知症について
H31.2.22	屋部よりあい	ふたば会（水月吉井）	住み慣れた街で暮らし続けるために ～介護は突然やってくる～

⑤障がい者の休日、放課後等の居場所づくりについて

施設利用者から、「平日は施設に行くのでいいが、休日は家でじっとしていることが多い。友達と遊ぶことも時にはあるが、休日楽しく過ごせる場所が欲しい。」という声から、障がい者の居場所づくりプロジェクトとして、「ちょっとおでかけわくわくバスハイク」を開催し、11月は耶馬溪の紅葉見学を、3月には買い物支援を行いました。

〔第1回〕平成30年11月23日（祝）

目的／耶馬溪の紅葉見学と日田天領水の里元氣の駅でのお買い物
 行先／道の駅やまくに、耶馬溪（一目八景）、日田天領水の里元氣の駅
 参加／参加者18名、スタッフ8名

〔第2回〕平成31年3月16日（日）

目的／買い物及び食事
 行先／久留米ゆめタウン（久留米市東合川）
 参加／参加者7名、スタッフ5名

⑥地域行事等への参加

地域行事に各社会福祉法人から積極的に参加し、各法人が自治協議会等とつながり、地域には何かあれば社会福祉法人が協力できることを伝えていく取り組みを行いました。

江南地区協議の場「かたらんね～江南」、御幸地区協議の場「みゆき28」、大石地区協議の場「ふれあい大石」、妹川地区協議の場づくりのための勉強会、福富地区協議の場づくりのための勉強会には、ふたば会（水月吉井）、図南会（えびね荘）、両筑福祉会（浮羽学園）、ひじり会（ひじり園うきは）、うきは市社会福祉協議会より職員が参加をし、地域との連携で社会福祉法人としてできることなどの提案なども行いました。

⑦ひきこもり等の職場体験の受け入れについて

ひきこもり等の職場体験の受け入れについて、各法人が受入出来ることをリスト化しました。社協からはケースに応じて各社会福祉法人に相談し、受け入れを実施していくこととし、平成28年度に、ふたば会（水月吉井）のご協力を得て、職場体験の受け入れをし、現在は、就労にも結び付けています。

⑧個人宅一斉清掃活動について

地域から相談があった個別課題への対応として、個人宅一斉清掃活動等を2事例行いました。

対象者	相談経路	期 日	参加者
60代 一人暮らし女性	近隣住民	H30.5.17	14名
		H30.5.25	6名
母親と子ども3人の世帯	市子育て支援係	H30.7.30	18名

⑨情報提供の充実について

各社会福祉法人の紹介や相談窓口の広報、協働での地域における公益的な取り組みについて紹介するため、社協ホームページ内に、社会福祉法人連絡協議会ページを作成して周知を図りました。

⑩その他

他市町村からの依頼により、うきは市社会福祉法人連絡協議会の活動について、事例報告、視察受入を行いました。

期 日	会 場	参加者	内 容
H30.8.9	飯塚市 穂波交流センター	うきは市 社会福祉協議会	ふくおかライフレスキュー事業 サポーター養成講座 実践報告
H30.11.27	うきは市 総合福祉センター	ふたば会（水月吉井） 相談員 河角 成明 氏	福祉会研修会 （うきは市社会福祉法人連絡協議会実践報告） パネルディスカッション「私たちの地域福祉活動」
H31.1.22	うきは市 総合福祉センター	うきは市 社会福祉協議会	大分県豊肥地区社会福祉連絡協議会視察研修受入

II 地域福祉活動部門

《地域係》

1. 部会・研究事業

(1) 部会

地域福祉の増進を図ることを目的に、専門事項について常時研究活動を行うことを目的に部会を実施しました。

①各部会開催状況

部会名	期 日	出席者	協 議 事 項
高齢者福祉部会	H30.4.24	委員 10 名	・高齢者が頼れる具体的な情報やサービスについて
	H30.7.20	委員 9 名	・具体的な情報を掲載したチラシの作成について
	H30.9.14	委員 9 名	・具体的な情報を掲載したチラシの作成について ①高齢者の自動車運転事故の現状、免許証の自主返納制度等について 講師／うきは警察署 交通課 ②うきは市ふれあい入浴補助券交付事業について 講師／うきは市役所 保健課 ③サンピットバリューの移動販売車について ・意見交換
	H30.11.30	委員 10 名	・具体的な情報を掲載したチラシの内容および配布方法の検討
	H31.2.13	委員 11 名	・具体的な情報を掲載したチラシの内容および配布方法の検討 ・社協事業への提言について
障がい者（児）福祉部会	H31.3.7	委員 8 名	・うきは市地域障害者協議会について ・うきは市障がい者地域資源ガイドについて ・社協事業への提言について
児童福祉部会	H30.10.10	委員 9 名	・前年度の部会活動について ・うきは市及び社協が行う子どもの事業の現状と課題について
	H30.10.21	委員 3 名	・朝日子どもの未来九州ブロック大会への参加 場所：熊本学園大学
	H31.3.12	委員 7 名	・朝日子どもの未来九州ブロック大会の報告 ・社協事業への提言について
ボランティア部会	H31.2.28	委員 6 名	・みんなが主役の元気な地域づくりセミナーへの参加 場所：福岡国際会議場
	H31.3.6	委員 10 名	・前年度まとめ ・「みんなが主役の元気な地域づくりセミナー」研修報告 ・社協事業への提言について

②社協事業への提言

部会名	提 言
高齢者福祉部会	1. 高齢者が頼れる情報を周知するために、下記の方法により広報・啓発を行ってください。 ①部会にて検討したチラシを活用し、情報発信を行ってください。 ②社協広報紙「ふくしのかわら版」への情報掲載を進めてください。
障がい者（児）福祉部会	1. うきは市障がい者地域資源ガイドの充実に向け改訂・見直し等を行う際は、うきは市が設置するうきは市地域障害者協議会との連携・協働をお願いしたい。 ・平成 27 年にうきは市社会福祉協議会 障がい者（児）福祉部会にて作成した、うきは市障がい者地域資源ガイドですが、冊子の更なる充実に向けては、障害福祉サービス事業所、当事者団体等多くの関係者が参加するうきは市地域障害者協議会との連携・協働が不可欠だと考えます。 冊子の内容および配布等について、うきは市地域障害者協議会と協働して検討・改訂・見直しすることについて、うきは市およびうきは市社会福祉協議会にて検討してください。

部会名	提 言
児童福祉部会	1. 新生児期の子どもを持つ親の悩みをきちんと聞く場が設けられているかの確認、また親の居場所づくりについて今後検討してください。 2. 各自治協議会活動が活発になっている中、高齢者のみの活動以外にも子ども達の間接的関係も取り組むように働きかけを行ってください。 3. 現在のうきは市の子どもの関する支援事業を継続して実施してください。
ボランティア部会	1. 若い世代や元気な高齢者をボランティア活動に取り込むような工夫をしてください。 2. ボランティアや地域活動に参加しやすいように、みんなをまきこんで活動できるよう、みなさんで話し合う場を推進してください。 3. 地域と企業や団体との結びつきを意識し、地域全体で様々な課題に取り組めるような環境づくりをしてください。

2. 連絡調整事業

(1) 連絡調整

行政をはじめとする関係機関との連絡・調整のため次のような会議を行いました。

連絡調整対象	連絡調整方法	連絡調整事項
地区自治協議会（福祉部門）	自治協議会（福祉部門）連絡会	活動推進、活動内容、事業日程他
うきは市民生委員・児童委員協議会	定例会、代表委員会	活動内容、研修内容他
行政（福祉事務所福祉係）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、地域福祉事業推進他
行政（保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	受託事業、成年後見制度他
行政（福祉事務所保護係）	行政・社協事務連絡調整会議	生活困窮者自立促進支援モデル事業
行政（福祉事務所子育て支援係）	行政・社協事務連絡調整会議	子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援モデル事業
両筑管内社協（6市町村社協）	両筑地区社協連絡会	事業内容情報交換、課題解決他
県南地区社協（10市町）	県南地区社協連絡協議会	事業内容情報交換、課題解決他
行政（市民協働推進課、福祉事務所、保健課）	行政・社協事務連絡調整会議	保健福祉関係事業全般に係る関係者の情報共有

(2) 委員会、会議等への参加

関係機関との連絡調整、事例検討、事業推進のため各種委員会、会議等へ参加しました。

委員会、会議等名称	主な内容	設置者（担当所管）
要保護児童対策地域協議会実務者会議	要保護児童についての情報交換、検討	福祉事務所子育て支援係
地域子育て支援センター実務者会議	未就園児に係る支援	遊林ランド
不登校・引きこもり対策相談支援事業サポート協議会	不登校・引きこもり対策相談支援事業に関するサポート協議	福祉事務所福祉係
ひとり暮らし高齢者等見守りネットワーク協議会	見守りネットワーク事業	保健課介護・高齢者支援係
うきは市自殺対策プロジェクト委員会	自殺対策の研究、防止啓発	福祉事務所福祉係
浮羽地域在宅医療連携拠点整備事業委員	地域における在宅医療提供体制の検討	浮羽医師会
地域ケア会議	個別ケース検討、ネットワーク構築 地域課題の発見	保健課地域包括支援係
福岡県福祉情報センター障がい者福祉専門委員会	障がい者に係る情報誌の内容検討	福岡県社協

3. ふれあいのまちづくり推進事業（市補助事業）

(1) 総合相談・援助

市民の皆さまの気軽な相談窓口として、各種相談窓口を開設しました。

①心配ごと相談（常設相談）

相談開設：毎週火・金曜日 9:00～15:00

相談場所：火／吉井事務所 金／浮羽事務所

開設日数	99
相談者	35
相談経路 来所	31
// 電話	4
相談件数	42

【相談援助事項】

終了解決	11	
相談継続	5	
社協による援助実施	5	
弁護士相談紹介	6	
他機関・組織への紹介	15	
内 訳	民生委員児童委員	5
	福祉事務所	1
	その他行政機関	5
	その他民間組織	4

【相談事項の分類】

	相談事項	件数	内容	内数		相談事項	件数	内容	内数
暮らし 住まい	生計問題	3	公的扶助（生活保護）	1	健康 医療	健康・衛生問題	1	衛生	1
			その他	2					
家 族	職業・生業問題	2	求職	1	法 律	財産問題	5	遺言	1
			その他	1				寄与分	1
	住宅問題	2	借家	1				境界線（相隣問題）	1
			転居	1				名義変更	1
	家庭問題	10	夫婦関係	2				贈与	1
			親子関係	2	福祉 教育	1			
			家庭不和	3	児童福祉	1			
			親族問題	2	老人福祉問題	2			
	離婚問題	5	その他	1	介護	1			
			離婚相談	3	独居	1			
養育費			1	その他	11				
			その他	1	その他		相隣関係の苦情	5	
							上記に属さない問題	6	
					合 計			42	

②第三者苦情相談

相談開設：5回

相談場所：浮羽事務所 5/1、9/4、1/15 実施

：吉井事務所 11/6、3/5 実施

※吉井事務所 7/3 は台風の為中止

	浮 羽	吉 井	合 計
相談開設	3	2	5
相談来訪者	0	0	0

③弁護士無料法律相談

相談開設：年12回（毎月第3木曜日）

相談場所：偶数月／浮羽事務所 奇数月／吉井事務所

相談開設	12
相談来訪者	83
相談件数	95

【相談結果】

指導助言により終了	90	
扶助協会への紹介	0	
弁護士紹介	5	
内訳	相談担当者直受	3
	継続相談	2
	相談担当者以外	0

	相談事項	件数	分類	
			分類	内数
一般民事関係	不動産関係	20	所有権	3
			登記	1
			売買	1
			賃借権	4
			家屋明渡	2
			建物収去土地明渡	2
			境界	1
			相隣	3
			その他	3
	債権関係	6	貸金	5
			その他	1
	損害賠償	11	医療事故	4
			その他	7
		一般刑事	4	事件
	特殊事件	3	サラ金	2
			子供の権利	1
合計				95

④司法書士相談（福岡県司法書士会筑後支部との共催）

相談開設：年10回（毎月第4木曜日）

相談場所：偶数月／吉井事務所、奇数月／浮羽事務所

※社協は受付事務および部屋の貸出を実施

※4・10月吉井会場での相談は相談希望者がいなかったため実施しませんでした。

相談開設	10
相談来訪者	30
相談件数	30

【相談結果】

指導助言	30
相談継続	0

【相談事項の分類】

不動産登記関連	4
相続関連	11
借金関連	4
裁判関連	2
成年後見関連	1
会社登記関連	0
その他	8

⑤相談員研修

相談員の資質向上を図るため次の研修会を実施しました。

期 日	会 場	参加者	研修内容
H30.4.18	うきは市総合福祉センター	11名	・相談員委嘱状交付 ・研修「成年後見制度の現状について」 「近年の相談内容や状況について」 講師：富永司法書士事務所 司法書士 富永 真博 氏
H30.7.26	うきは市総合福祉センター	6名	・研修「うきは市の空き家の現状についてと今後の市の施策について」 講師：うきは市住環境建設課建設管理係長 山崎 譲 氏
H30.11.21	えーるびあ久留米	6名	・研修「高齢者の財産管理について」 講師：福岡県弁護士会筑後部会 弁護士 竹田 寛 氏

(2) 地域生活支援事業

①地区自治協議会（福祉部門）・活動費助成

自治協議会（福祉部門）活動について、地区担当職員を配置し、活動支援、連絡調整などを行いました。

〔地区自治協議会（福祉部門）活動費算定基準〕

基本配分：各地区とも一律 70,000 円

区数配分：一行政区につき 3,500 円

世帯数配分：一世帯につき 175 円

高齢率配分：うきは市の高齢率 33%（H30.4.1 現在）を基本値（100%）として、各地の

高齢率比率を算出し、基本額 100,000 円から、その比率に応じて算出。

各地区自治協議会（福祉部門）に次の活動費を助成しました。

【各地区自治協議会助成実績】

妹 川	新 川	田 籠	小 塩	山 春	大 石	御 幸
113,578 円	212,462 円	219,000 円	224,243 円	396,500 円	421,000 円	478,768 円
千 年	吉 井	福 富	江 南	合 計		
519,600 円	535,700 円	220,000 円	437,300 円	3,778,151 円		

※上記金額には、過年度返還金を差し引いた金額を記載しております。

※活動費は各地区自治協議会（福祉部門）における、地区福祉大会、友愛訪問、福祉委員の研修、先進地・施設視察研修など、それぞれの地区活動に活用されています。

②地区自治協議会（福祉部門）連絡会

各地区自治協議会（福祉部門）の連携や情報交換をおこなうため、自治協議会（福祉部門）連絡会を開催しました。

【地区自治協議会（福祉部門）連絡会 検討内容】

回	期 日	検討・情報交換項目
第 1 回	H30.7.27	・各地区自治協議会（福祉部門）平成 29 年度事業報告について ・各地区自治協議会（福祉部門）平成 30 年度事業計画について ・福祉小座談会の開催のお願い
第 2 回	H30.11.5	・各地区自治協議会（福祉部門）中間報告 ・福祉小座談会の開催状況及び推進について ・福祉会の設置状況及び推進について ・歳末たすけあい活動について

③民生委員児童委員活動の支援・助成

地域における福祉活動の推進役である民生委員活動の推進を図るため、地域の福祉委員等との情報交換、連携を図ることを目的とした地区懇談会の開催に対して支援・助成を行いました。

助成実施行政区：57 行政区（吉井：26 行政区 浮羽：31 行政区）

参加者：185 名（民生委員・福祉委員・区長・分館長・ボランティア等）

④地区地域福祉活動計画策定支援

平成 21 年度にふれあいセンター御幸、23 年度にふれあいセンター妹川と江南公民館福祉部（現江南地区自治協議会福祉部）が策定を終了し、計画に沿って、地区の福祉活動が推進されています。

社協では、他の地区についても計画策定の推進をしておりますが、27 年度に自治協議会が策定した地域計画との関係もあり、計画策定の検討が保留となりました。

⑤よりあい活動支援

活動報告書の提出があった以下のよりあい活動に対して、活動費の助成を行いました。

開催回数／ 299 回 開催区数／ 86 回

参加内訳：高齢者／ 3,866 名 世話人／ 1,373 名 その他／ 591 名 参加者計／ 5,830 名

地 区	開催区/行政区数	高齢者	世話人	その他	参加者計	開催数
妹川校区	2/5	297	94	47	438	15
新川地区	0/8	0	0	0	0	0
田籠地区	0/1	0	0	0	0	0
小塩校区	5/4	206	48	22	276	26
山春校区	14/17	452	213	64	729	36
大石校区	17/18	522	264	84	870	54
御幸校区	17/28	984	354	148	1,486	38
千年校区	11/20	493	141	71	705	50
福富校区	8/15	302	94	66	462	26
吉井校区	3/23	100	34	10	144	7
江南校区	9/19	510	131	79	720	47
合 計	86/158	3,866	1,373	591	5,830	299

※なお、よりあい活動を実施していても助成の必要がなく、活動報告書を提出していない区もあります
 ※よりあい会へは地域の企業・団体にもご協力いただき、正しい薬の使い方や、健康に関するお話をしています。

・浮羽薬剤師会による住民向け講話（13 回） 久留米ヤクルト販売(株)による出前健康教室（6 回）

(3) 住民参加による地域福祉事業

①うきは絆プロジェクト活動

うきは警察署との協働で、軽犯罪を犯した少年少女達の立ち直り支援として、防犯委員やボランティアセンター、地域の方々のご協力のもと地域活動を行いました。

「きずな農園」（金本区内）で栽培・収穫した野菜でしし汁を調理し、JA にじ耳納の里にてチャリティ募金活動を行いました。ここで集められた募金は、九州北部豪雨災害義援金として寄付しました。

また、年末には総合福祉センター利用者とのふれあい餅つき交流会を実施しました。

期 日	活 動	期 日	活 動
H30.11.18	耳納の里チャリティ活動	H30.12.26	ふれあい餅つき交流会

②ボランティア活動の推進

ア. ボランティアセンター運営

ボランティアセンターでは、毎週月曜日～土曜日（日、祝日は休み）の 8:30～17:15 にボランティア活動に係る様々な相談、依頼を受けて需給調整をおこないました。また、月・水・金曜日の 9:30～15:00 は、ボランティアコーディネーターがボランティアセンターに常駐し、ボランティアに関する相談に応じました。なお、月 1 回ボランティアコーディネーター会議を開き、ボランティア相談に関する検討等を行いました。

【ボランティアセンター相談受付状況】

内 容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
①活動希望	0	0	1	0	2	0	0	0	1	0	0	1	5
②ボランティア依頼	33	24	23	30	19	27	34	24	34	27	18	27	320
③情報収集	1	1	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	7
④その他	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
合 計	34	25	25	31	21	28	35	25	35	28	18	28	333

イ. ボランティアニーズ需給調整

ボランティア活動依頼については、うきは市ボランティア連絡協議会加入団体や会員制互助組織（低額有償サービス）への斡旋等を行いました。また、ボランティア活動や会員制互助組織で対応できないケースについては、シルバー人材センターやその他の機関へ連絡し対応していただいたケースもありました。

ボランティア活動相談については、希望に応じて各機関と連絡調整しながら、ボランティア参加を促しました。団塊の世代が退職を迎え、地域での新たな役割として、ボランティア活動への参加が促せるよう、ボランティアに関する広報のあり方や、地域のニーズに応えられるような講座の開催を検討していく必要があります。

【ボランティア活動依頼内訳】

(件)

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
外出	通院・通所介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	外出・旅行介助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	移送ボランティア	29	21	22	27	17	24	29	23	33	27	16	26	294
生活援助	家事援助	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小修理	1	2	2	1	0	1	2	1	1	0	1	0	12
	理容・美容カット	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
友愛訪問	保育・遊び相手	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話し相手・安否確認	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イベント手伝い・出し物披露	1	1	0	1	2	2	1	0	0	0	0	1	9
技能提供	朗読・点訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・筆記通訳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	手話・点字指導	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3
その他のボランティア		1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
合 計		33	25	24	30	19	27	34	24	34	27	18	27	322

ウ. ボランティア保険加入促進

うきは市内でボランティア活動をおこなう方々に、安心してボランティア活動ができるように、ボランティア活動保険を紹介し、加入を促進しました。

【ボランティア保険加入者数 731 名】

エ. ボランティア活動団体支援・助成

うきは市ボランティア連絡協議会には、複数のボランティア団体が登録していただいておりますが、それぞれの団体活動や運営が円滑に行われるよう、活動費の助成や活動支援を行いました。(助成金額 709,606 円) また、5/18 ボランティア連絡協議会総会、11/2 ボランティア連絡協議会役員研修 (中間市ボランティア連絡協議会視察研修)、1/19 ボラ連会員のつどいが行われ、活動支援を行っています。

【うきは市ボランティアセンター登録・把握団体一覧表】

(平成31年3月31日現在)

	団体名	会員数	活動内容
うきは市ボランティア連絡協議会	浮羽町日本赤十字看護奉仕団あいの会	102	高齢者（一人暮らし・老夫婦）とのふれあい食事会や手作り弁当の声かけ訪問配布、年末年始声かけ訪問等を行う
	声のグループうさぎ	8	視覚障がい者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	小修理ボランティア	3	高齢者世帯や障がい世帯を主として、家屋等の小修理、庭木の枝切り、廃品の搬送を実施
	ハンディ移送サービスうきは	11	高齢者・障がい者の病院等へ移送サービス（会員制）
	七施会	16	社協の福祉給食の配食活動、白鳥の家アルミ缶回収時運転
	ハッピーかい	21	福祉施設や市内のよりあいでの手のぬくもりと会話による癒しのお届け
	朗読ボランティアともしび会	7	視覚障がい者の方に市情報（広報うきは、社協だより、市議会だより等）や物語を録音し届ける
	点筆の会	8	視覚障がい者の方に暮らしに役立つ身近な情報を点訳し届ける
	かりん	17	よりあいの昼食づくり、一人暮らし高齢者交流会での調理協力、福祉施設夏祭り手伝い
	夕月の会	7	一人暮らし交流会、施設訪問にて銭太鼓等を披露
	圭柳会	10	福祉施設への訪問活動、敬老会などへの協力
	団体・グループ：11 会員数：210名		
把握団体	うきは市手話の会	20	聴覚障がい者の社会コミュニケーション保障と通訳者の養成
	湯の花よかよか会	25	高齢者を対象に健康づくり体操を実施
	うきうき会（健康づくりボランティア）	18	公民館等において高齢者を対象に体操等を実施
	うきは市食生活改善推進会	50	地域における食生活改善普及の徹底と実践活動
	グループいろり	10	クリスマス時期にサンタクロースに扮し、子どもや高齢者にプレゼントを配布
	うきは図書館友の会	16	図書館行事の支援ボランティア
	幸せの会クローバー	6	現役在宅介護者の相談相手や、介護教室等のサポート
	JRVC チーム蛍火	13	災害ボランティア、ホテル再生活動、被災者支援、防災教育
	団体・グループ：8 会員数：158		
個人	運転ボランティア	14	社協の福祉給食の配食活動
	よりあいコーディネーター	37	市内でのよりあいで健康体操、手遊び、ゲームなどの指導支援
	個人登録ボランティア	15	ボランティアセンター個人登録者
個人：66名			
活動者合計 団体・グループ 19 (368名) 個人：66名			

オ. ボランティア活動資材の購入・貸出

様々なボランティア活動のニーズに対応するため、また、よりよいボランティア活動を推進していくために必要な資材等を購入し、貸出を行い、推進に努めました。

カ. よりあいコーディネーター派遣事業

よりあい開催区より指導依頼のあった場合、よりあいコーディネーターに依頼して、派遣指導を実施していただきました。（よりあいコーディネーター登録者：個人30名 団体2団体）

【ボランティア派遣実績】

(個人/人・団体/団体)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個人	12	19	28	31	8	17	23	27	18	9	23	31	246
団体	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	4

キ. ボランティア講習会・研修会の開催

現在ボランティア活動をされている方、これからボランティア活動をはじめたい方を対象に、次のようなボランティア講習会を開催しました。また、ボラ連に加入しているボランティアグループの研修開催の支援も行いました。

開催日	会 場	参加者数	内 容
H30.7.11	総合福祉センター	21名	運転ボランティア安全運転講習会（講話：うきは警察署）
H30.9.27	総合福祉センター	20名	ボランティア対象救命講習（講話・実技：うきは消防署）
H30.11.7	うきは自動車学校	18名	運転ボランティア安全運転講習会（実技：うきは自動車学校）

ク. ボランティア研修・つどい等への参加

ボランティアの資質向上を図り、他市町村ボランティアとの連携強化のため、次のつどいに参加しました。

開催日	会 場	参加者数	内 容
H31.1.19	A コープうきは2階	107名	ボラ連会員のつどい
H31.2.17	クローバープラザ（春日市）	47名	ふくおか"きずな" フェスティバル

(4) 災害緊急支援活動

①災害ボランティアセンターマニュアルの随時見直し

緊急・災害対策検討委員会を設置し、災害ボランティアセンターマニュアルの見直しの検討等を行いました。

回 数	開催日	内 容
第1回	H30.5.14	・災害ボランティアセンター設置運営訓練について ・緊急・災害時対応マニュアルについて ・うきは市災害ボランティアセンターマニュアルについて
第2回	H30.6.13	・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて ・災害ボランティアセンター設置運営訓練について
第3回	H30.7.31	・災害ボランティアセンター設置運営訓練について（反省）
第4回	H30.10.10	・災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて
第5回	H30.11.5	・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて
第6回	H30.11.19	・災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて ・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて
第7回	H30.12.9	・災害ボランティアセンターマニュアルの見直しについて ・緊急・災害時対応マニュアルの見直しについて

4. 共同募金配分金事業

(1) 福祉教育に関する事業

①福祉教育指定校連絡会

各学校での福祉教育活動の情報交換を行うために、福祉教育指定校連絡会を開催しました。

（福祉教育指定校連絡会開催日 平成30年6月26日）

②福祉教育指定校助成

市内の全小中高等学校12校に対して、福祉教育指定校として福祉教育を推進するための活動支援及び助成金（合計830,000円）を交付しました。（内訳／小中学校11校×70,000円、浮羽究真館高等学校60,000円）

③福祉体験学習の支援

学校からの依頼を受けて、児童を対象に福祉体験学習を実施。ゲストティーチャー等の斡旋を行いました。体験学習を実施する際には、地域の方やボランティア、市内福祉施設の職員の方や入所されている方にもご協力いただきました。

実施日	学校名	内 容
H30.5.22	吉井小4年生	よりあいの説明
H30.6.6	吉井小4年生	2区、かわはらさんちへの参加（地域の高齢者との交流）
H30.7.13	吉井小4年生	
H30.10.15	御幸小4年生	身体障がいについて、車いす体験（当事者からのお話し、ふれあい）
H30.10.16	御幸小4年生	視覚障がいについて、点字体験（当事者からのお話し、ふれあい）
		聴覚障がいについて、手話体験（当事者からのお話し、ふれあい）
H30.10.17	千年小4年生	視覚障がいについて、点字体験（当事者からのお話し、ふれあい）
		聴覚障がいについて、手話体験（当事者からのお話し、ふれあい）
H30.10.22	大石小4年生	視覚障がいについて、点字体験（当事者からのお話し、ふれあい）
H30.10.22	御幸小4年生	高齢になることについて（当事者及び水月吉井職員からのお話し、ふれあい）

実施日	学校名	内 容
H30.10.24	千年小4年生	身体障がいについて、車いす体験（当事者からのお話し、ふれあい）
		献血について（献血バス乗車）
		赤い羽根共同募金について
H30.10.31	山春小4年生	赤い羽根共同募金について
		アイマスク、白杖体験
H30.11.5	山春小4年生	身体障がいについて、車いす体験（当事者からのお話し、ふれあい）
H30.11.12	山春小4年生	視覚障がいについて、点字体験（当事者からのお話し、ふれあい）
H30.12.5	福富小4年生	視覚障がいについて、点字体験（当事者からのお話し、ふれあい）
H31.2.13	山春小4年生	福祉教育まとめの授業、市内探検発表、うきは市へのお願い
H31.2.14	吉井小5年生	聴覚障がいについて、手話体験（当事者からのお話し、ふれあい）
H31.2.15	吉井小5年生	身体障がいについて、車いす体験（当事者からのお話し、ふれあい）

④福祉教育読本の配布

福岡県社協が編集作成している、福祉教育読本「ともに生きる」を福祉教育教材として市内全小学校の4年生（複式学級の場合は3年生にも配布）および担当教諭に1冊ずつ配布しました。

・330冊（33,000円）

（2）高齢者への支援

①よりあい遊具無料貸出

各区でのよりあい活動等に対して、福祉レクリエーション遊具の無料貸出を行いました。

②金婚祝福の会

結婚50周年を迎えられたうきは市内に居住の方を対象に、金婚祝福の会を行いました。

- ・開催日／平成30年10月26日 会場／JAにし総合会館アルカス 該当者／54組
- ・祝福の会出席者／49組（88名）

③老人クラブ連合会活動支援・助成

老人クラブ連合会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団 体 名	助成金額	助 成 内 容
うきは市老人クラブ連合会	841,020円	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者相互支援活動保険加入 ・新任会長研修 ・広報誌発行費 ・県老連ゲートボール大会 ・リーダー研修 ・高齢者相互支援活動 ・視察研修 ・シルバー保安官用具補充

④高齢者安心カード作成（個人情報記載携帯カード）

高齢者安心カードを作成するために、老人クラブを通じて概ね75歳以上の登録希望者の方に申し込み記入用紙を配布し、62名の方の携帯用カードの作成と配布を行いました。

（3）児童・青少年福祉に関する支援

①子育て支援団体助成

子育て支援に関わる各団体・組織に活動費および備品購入費の助成を行いました。

団 体 名	助成金額	活 動 内 容
子育てサークル ちびっこ広場	28,661円	<ul style="list-style-type: none"> ・親子クッキング ・電車でおでかけ ・スクラップブック ・クリスマス会 ・茶話会

②子ども用遊具貸出

子ども会や各子育て支援団体等に必要遊具の貸出を行いました。

③母子・父子福祉活動事業

平成31年度小学校に入学されるお子さん（母子・父子家庭）に対して、新入学お祝いとして、お祝いを希望される世帯のお子さんに対して学用品（水彩道具セット）をお送りしました。
（新入学児童数：22名）

④母子寡婦福祉会活動支援・助成

うきは市母子寡婦福祉会について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市母子寡婦福祉会	341,420円	<ul style="list-style-type: none"> ・親子バスハイク（グリーンランド） ・寡婦研修会（福岡県宗像市） ・寡婦（6/15）、若年（7/1）野球観戦 ・若年クリスマス会

⑤子育て支援情報の提供

社協の広報誌「ふくしのかかわら版」にて、母子寡婦福祉会や子育て支援グループ、地域子育て支援センターの活動に関する情報提供を行いました。

⑥夏休みの福祉体験学習

夏休み期間を利用して、市内の児童を対象に福祉体験学習をおこないました。平成30年度は、買い物体験、料理教室、いのちについて考える学習会をおこないました。また、浮羽求真館高等学校の学生に児童の支援としてボランティアで協力いただきました。

- ・実施日：平成30年8月16日
- ・参加者：30名（小学生20名、高校生ボランティア・教諭6名、スタッフ4名）
- ・内容：買い物体験、料理教室
 講話／「いのち」について考える
 講師／福岡県立大学 大学院 看護学研究科助産学領域 助教 佐藤 繭子 氏

⑦育児用品リサイクル事業への協力

育児用品の寄贈の受付・保管・貸出については総合福祉センター2階子育て支援センター「子ども交流室」にて行い、点検と清掃は社協・ボランティアセンターにて実施しました。

⑧保護司会青少年弁論大会への支援・助成

うきは保護区保護司会が行った「うきは青少年弁論大会」への助成を行いました。（助成金額40,000円）

（4）障がい者・家族への支援

①障がい者団体活動支援・助成

障がい者（支援）団体について、担当職員を配置し、団体活動の側面的支援を行うほか、助成を行いました。

団体名	助成金額	活動内容
うきは市障がい者福祉協会	786,205円	<ul style="list-style-type: none"> ・部会活動（聴覚障がい者部会他） ・会員交流活動
うきは市手話の会	40,000円	・会員・研修交流活動
うきは地区精神障害者家族会	120,000円	・会員交流活動
合計	946,205円	

②障がい者福祉情報の提供

ふくしのかかわら版にて、障がい者に関する団体の活動情報や福祉サービスに関する情報提供を行いました。また、平成27年度に障がい者（児）福祉部会にて協議・作成を行った地域資源の情報誌「うきは市障がい者地域資源ガイド」を当事者及び支援者へ配布しました。

(5) 住民全般に関する事業

①社協だよりの発行

うきは市内の地域福祉活動や福祉サービスに関する情報、その他の地域生活課題に関する事などを、うきは市民の皆さまにお伝えするために、毎月15日に「ふくしのかわら版」を発行し、全戸に配布しました。

②福祉委員だよりの発行

福祉委員の活動内容や福祉委員から地域の高齢者に伝えて欲しい情報などをお伝えするために、毎月1日に「福祉委員かわら版」を発行し、全福祉委員および各区長、民生委員児童委員に配付しました。

③赤い羽根だよりの発行

赤い羽根共同募金および歳末たすけあい募金の協力実績や活動実績を市民の皆さんへお知らせするために、「赤い羽根だよりの発行し、全戸に配布しました。(年1回)

④地域憩いの広場施設整備・補修の助成

地域憩いの広場施設整備・補修の助成をおこなっていますが、平成30年度は申請がありませんでした。

⑤要支援・低所得世帯に対する無償野菜・お米等の配達訪問

JAにし「耳納の里」ならびに農産物搬入者のご厚意により、過剰分の野菜を毎週月・水・金曜日にいただき、市内在住の要支援・低所得世帯に安否確認を兼ねた訪問、配布を行いました。また、市民の皆様からご寄付いただいたお米もあわせて配りました。(区分の重複あり。実人員37名、1機関)

区分	対象者	延べ回数	備考
低所得世帯	16名	190回	
障がい世帯	13名	165回	
生保世帯	8名	82回	保護開始前、停止後の支援も実施
その他	1名	7回	困窮事業等
合計	38名	444回	

⑥要支援・低所得世帯に対する物品寄付

市民の皆様や各関係機関から寄贈していただいた物品を社協にて管理し、要支援・低所得により物品を購入する事が難しい方にお渡しし、利用していただいています。

物品寄贈数	9件	大型家電（冷蔵庫や洗濯機）…1件 家電（上記以外の家電）…2件 自転車…4件 タオル、寝具…2件
物品配付数	15件	

⑦火災等災害被災者へのお見舞い

火災の被害に遭われた市民の方に対し、見舞金を贈りました。

・件数：2世帯 見舞金総額：100,000円

(6) 歳末たすけあい配分事業に関すること

①年末見舞金

年末見舞金として次の方々に取り次ぎしました。(見舞事業総額：2,491,000円)

援護の必要な世帯	35世帯	1,115,000円	事故・病気・災害遺児	3名	48,000円
長期在宅療養・認知症の方	26名	416,000円	両親の扶養のない児童	4名	64,000円
在宅重度障がい者(児)	53名	848,000円			

②年末年始援助活動

年末年始援助活動費として次の事業に助成金を交付しました。(事業費総額：1,709,892円)

①福祉施設歳末行事(6施設) 282,103円 浮羽学園、吉井幼稚園、介護老人保健施設うきは、 希望が丘、グループホーム三春(オレンジカフェ三春) ワークサポート白鳥の家	⑥自治協議会(福祉部門)歳末支援活動 603,899円 田籠・新川・小塩・妹川・御幸・山春・大石・福富・吉井 江南・千年地区自治協議会(福祉部門)
②一人暮らし高齢者等見守り訪問活動 488,046円 見守りの必要な世帯へのカレンダー配布(617世帯)	⑦子育て支援事業 153,007円 グループいろり「みんなでハッピークリスマス～サンタが街にやってきた～」 大石学童保育所(ラビットクラブ)「クリスマス会」 福富学童保育所「クリスマス会」 江南学童保育所(きらきらルーム)「クリスマス会」 子育てサークルちびっこ広場「クリスマス会」
③交流活動事業 56,132円 チャレンジ・ド・親の会「障がい児(者)と家族の親睦会」 ハッピーかい「会話を楽しみながら、心の癒しと手のぬくもりのお届け」	⑧年賀状配布事業 2,046円 吉井幼稚園による一人暮らし高齢者の方への年賀状配布(33通)
④正月用お餅配布事業 88,300円 吉井幼稚園、吉井地区民児協によるお餅配布(341名) 少林寺拳法浮羽道場によるお餅配布	⑨配分決定通知郵便代等 7,692円
⑤地域交流事業 28,667円 江南地区自治協議会女性部による 「かたらんね食堂(地域食堂)」(参加者81名)	

5. 我が事・丸ごとの地域づくり推進事業(市受託事業)

少子高齢化、人口減少、地域社会の脆弱化など社会構造の変化の中、年齢や性別、障がいの有無を問わず、住み慣れた地域で自分らしい生活が出来る「地域共生社会」の実現に向けた国のモデル事業である、我が事丸ごとの地域づくり推進事業を平成29年7月より市から委託を受け、地域にお住まいの皆さんが主体的に地域の課題に気づき(我が事)、課題解決に向け地域や専門職が丸ごととなって、課題解決に取り組む(丸ごと)体制の構築に向けた支援を行いました。なお、平成30年4月の改正社会福祉法では、地域福祉の推進が自治体の義務として明記され、地域福祉の推進の重要性が高まっています。

また、平成30年4月より「生活・福祉丸ごと相談」の窓口を社会福祉協議会吉井・浮羽事務所に設置し、相談支援を行う他、関係機関等と連携し、相談者の課題解決に向けた各種支援を行いました。本事業についての政策動向は急速に変化しており、事業の内容も変わってきています。今後の動向を注視しながら、次年度以降の事業を実施していきます。

(1) 福祉小座談会の実施

行政区の役員(区長、分館長、福祉委員、民生委員等)の皆様と地域での悩みごと、困りごとを持っておられる方の支援について、一緒に話し合いを行う福祉小座談会を開催しました。

地 区	開催区/行政区	実 施 区 名
御 幸	26/28	今川通/旭町/川原町/隈の上/西町/千足新町/千足五丁目/浮羽/大崎朝田原/小坂/千足四丁目/御幸通/松本/宮本/東町/一の瀬/中町/東浮羽千足三丁目/一の瀬新町/吉江/上流川/下流川/千足二丁目/中川原
大 石	11/18	下の丁/祇園町/川端/温泉/糸丸/中鶴/東の四/東の五/西の四/西の五/古川村
山 春	13/17	保木/三春原/川籠石/東長瀬/西長瀬/北原/大野原/吉広/上組/下組/荒瀬/畑中/原口
新 川	8/8	栗木野/内ヶ原/本村/探野/つづら/尾谷/分田/鹿狩
小 塩	1/4	小塩4(白土)
福 富	14/15	東延寿寺/西延寿寺/安富/西屋部/東屋部/東屋形/西屋形/千代久蓮町/竹重/西福益/北福益/八竜/東福益
千 年	7/20	福久/角間/長野/宮田/上吉井/東小江/日の岡
江 南	9/19	上菅/金本/今竹/庄園/中島/夏梅沖鶴/今泉/清宗/新治団地
合 計		89行政区

(2) 福祉社会設置推進及び研修会

平成30年11月27日に福祉社会役員・各地区自治協議会(福祉部門)役員を対象に、福祉社会研修会を開催しました。「これからの地域福祉活動」をテーマに、「私たちの地域福祉活動」と題して、行政区の取り組み、地区の取り組み、地域福祉活動の新たなパートナーとしての社会福祉法人等の取り組みについて、活動報告を行った後、「これからの地域福祉活動」について九州大谷短期大学の中村秀一先生をお迎えし、講演を行いました。

「孤立死を防ぐためには孤立の生を防ぐことが大切ではないか。」「今は様々な制度が充実し、支援を受けることが出来るようになった。しかし、困っている人は減っていない。制度だから支援できる事がある一方で、身近な存在だからこそ支援できる事があるのかもしれないし、どちらも大事ではないか。」と、参加者に問いかける場面も多々あり、参加された方々が今後の地域での活動について考える時間となりました。

なお、福祉社会の設置について検討する行政区もありましたが、今年度の設置はありませんでした。今後も、各地区自治協議会(福祉部門)などと連携して、福祉社会の設置推進と活動支援をおこなっていきます。

【平成30年度福祉社会研修会

期日：平成30年11月27日 参加者：41名

内容：活動報告「私たちの地域福祉活動」

①行政区の活動(糸丸区 区長 石井 準一郎 氏 民生委員 石井 貴美子 氏)

②地区の活動(千年地区自治協議会 会長 須山 正光 氏)

③地域福祉活動の新たなパートナー(うきは市社会福祉法人連絡協議会(社会福祉法人ふたば会 特別養護老人ホーム 水月吉井))

コメンテーター：九州大谷短期大学 教授 中村 秀一 氏

まとめの話「これからの地域福祉活動」 講師：九州大谷短期大学 教授 中村 秀一 氏

(3) 福祉社会活動支援・助成

うきは市内に30福祉社会(40行政区)がありますが、助成要望書の提出があった28福祉社会について、助成を行いました。

地区	福祉社会名	設立年度	地区	福祉社会名	設立年度
大石	古川村福祉社会	平成12年度	大石	古川町区福祉社会	平成17年度
山春	保木区福祉社会	平成12年度	山春	川籠石区福祉社会	平成18年度
山春	袋野区福祉社会	平成12年度	御幸	朝田原区福祉社会	平成20年度
山春	西長瀬区福祉社会	平成12年度	御幸	中町区福祉社会	平成20年度
山春	荒瀬・畑中区福祉社会	平成12年度	御幸	御幸通区福祉社会	平成20年度
御幸	川原町区福祉社会	平成13年度	御幸	浮羽区福祉社会	平成21年度
妹川	檉ヶ平区福祉社会	平成13年度	大石	西高見(西の1・2・3・5)福祉社会	平成21年度
御幸	旭町区福祉社会	平成13年度	大石	西の4区福祉社会	平成22年度
山春	三春原福祉社会	平成14年度	山春	吉広区福祉社会	平成24年度
大石	東の6区福祉社会	平成15年度	山春	上組区福祉社会	平成24年度
大石	中鶴区福祉社会	平成15年度	山春	下組区福祉社会	平成24年度
大石	糸丸区福祉社会	平成15年度	江南	庄園区福祉社会	平成26年度
山春	大野原区福祉社会	平成16年度	江南	今泉区福祉社会	平成27年度
大石	東の4・5区福祉社会	平成17年度	山春	原口区福祉社会	平成28年度
大石	東の1・2・3区福祉社会	平成17年度	江南	今竹区福祉社会	平成28年度

助成金については、基本助成として10,000円を、活動応分助成として実績を審査の上で追加助成をします。また、よりあい開催費については、別途よりあい活動助成を行っておりますので、福祉社会活動助成には含まれません。

なお、大野原区福祉社会、庄園区福祉社会は助成要望書の提出がありませんでした。

(4) 「生活・福祉まるごと相談」窓口の開設および相談支援

平成30年4月より「生活・福祉丸ごと相談」の窓口を社会福祉協議会吉井・浮羽事務所に設置し、相談支援を行う他、関係機関等と連携し、相談者の課題解決に向けた各種支援を行いました。相談内容としては、生活に関することが一番多く、「どこに相談していいかわからない」や「こんなことを相談していいのだろうか?」と誰にも相談できずに困りごとを抱えている方が多い傾向にあるようです。今後も生活上の様々な課題を受け止め、解決に向けた支援を行います。

相談件数（延べ件数）	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月	
	吉井	浮羽	吉井	浮羽										
来 所	5	4	1	1	7	4	8	1	10	3	4	2	6	2
電 話	8	0	6	0	13	0	9	0	7	0	12	3	9	1
訪 問	8	0	5	0	2	0	10	0	7	0	7	0	8	0
その他（関係機関との調整等）	6	0	1	0	16	0	13	0	6	0	12	0	17	0
合 計	27	4	13	1	38	4	40	1	30	3	35	5	40	3
うち新規件数	15		5		15		10		12		11		14	

相談件数（延べ件数）	11月		12月		1月		2月		3月		合計		総計
	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	吉井	浮羽	
来 所	5	1	6	0	6	3	11	2	2	1	71	24	95
電 話	18	0	13	1	8	1	14	0	13	0	130	6	136
訪 問	10	0	9	0	7	0	1	0	4	0	78	0	78
その他（関係機関との調整）	16	0	12	2	12	0	6	0	8	0	125	2	127
合 計	49	1	40	3	33	4	32	2	27	1	404	32	436
うち新規件数	12		4		8		9		6		121		

相談者（延べ人数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本 人	16	7	17	14	10	17	23	18	20	18	18	7	185
家 族	7	4	3	8	8	4	2	4	2	4	9	5	60
地域の関係者	3	3	7	7	7	8	3	13	4	9	4	6	74
専門機関	7	2	16	15	12	12	15	15	16	6	5	11	132
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2
合 計	33	16	43	44	37	41	43	50	43	37	37	29	453

※相談に複数の関係者が同席している場合があり、それぞれ1人としてカウントしている。

相談内容（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
高齢者に関すること	14	2	11	26	25	29	23	23	27	11	15	11	217
障がい者に関すること	7	2	0	3	0	1	3	2	0	12	3	2	35
子どもに関すること	0	0	3	4	1	1	0	0	0	0	0	0	9
生活困窮に関すること	2	0	4	14	20	12	11	10	20	25	21	15	154
住まいに関すること	10	7	0	4	4	6	6	15	8	1	6	4	71
生活に関すること	4	3	24	41	26	37	37	45	37	33	26	27	340
その他	1	8	8	0	1	4	1	0	0	1	0	0	24
合 計	38	22	50	92	77	90	81	95	92	83	71	59	850
うち新規件数	18	6	18	23	22	20	22	18	6	14	16	12	195

※1件の相談で相談内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

支援内容（延べ件数）	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談対応	16	8	21	22	27	26	27	29	25	26	28	16	271
関係機関との調整	10	6	17	18	17	19	18	22	18	14	9	15	183
援護物品の提供	2	1	3	3	2	2	3	4	4	6	4	1	35
居宅の清掃	2	2	0	2	0	2	1	1	1	0	0	0	11
情報提供	3	0	26	12	9	12	18	20	13	9	11	9	142
その他	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	1	6
合 計	33	17	67	58	57	62	67	76	61	55	53	42	648
うち新規件数	18	6	24	16	24	20	25	19	7	15	19	12	205

※1件の相談で支援内容が複数あったものはそれぞれカウントしている。

6. たすけあい献血事業（市受託事業）

うきは市からの委託を受けて、地域献血・年頭献血・事業所献血を行いました。地域献血・年頭献血においては、各自治協議会、区長会、ライオンズクラブ等の協力を得て実施することが出来ました。

(1) 献血推進協議会

期 日	会 場	出席者	内 容
H30.11.22	うきは市総合福祉センター	委員 22 名	平成 29 年度献血運動について（報告） 平成 30 年度献血運動について（報告・計画） 年頭たすけあい献血について

(2) 地域献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)
H30.5.23	全 域	うきは市役所	2	169	146 86.4%
H30.9.13	全 域	うきは市役所	2	151	133 88.0%
合 計		2 会場	4	320	279 87.2%

(3) 年頭たすけあい献血

期 日	地区別	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)
H31.1.3	福富	福富コミュニティセンター	1	47	44 93.6%
	大石	大石コミュニティセンター	1	64	64 100.0%
	山春	山春コミュニティセンター	1.5	72	68 94.4%
	新川	新川コミュニティセンター	0.5	8	8 100.0%
	田籠	田籠コミュニティセンター	0.5	3	3 100.0%
	妹川	尼ヶ瀬公民館	0.5	13	11 84.6%
H31.1.4	千年・吉井・江南	うきは市役所	1	138	119 86.2%
	御幸	うきは市民ホール	1.5	108	100 92.5%
	小塩	小塩コミュニティセンター	0.5	11	11 100.0%
H31.1.5	吉井町	うきは市民会館	1	40	38 95.0%
	浮羽町	うきは市民ホール	1	54	51 94.4%
合 計		11 会場	11	558	517 92.6%

(4) 事業所等献血

期 日	事業所、団体名	配車台数	参加者	採血者 (%)
H30.4.5	うきは警察署	0.5	21	21 100%
	テクノ月星	0.5	34	32 94.1%
H30.10.11	うきは警察署	0.5	16	16 100%
	テクノ月星	0.5	35	35 100%
H30.11.29	福岡県生コンクリート工業組合青年部・JAにじ	1	98	93 94.9%
合 計	5 会場	3	204	197 96.6%

(5) 学校献血

期 日	会 場	配車台数	参加者	採血者 (%)
H31.2.14	浮羽究真館高等学校	1	40	38 95.0%

(6) 献血活動の広報

献血活動を推進するため、市・社協広報への掲載、各行政区、市内の主要な公共施設及びライオンズクラブ

等を通じて店舗などの主要箇所にポスターの掲示を行いました。また、広報カー・市の防災無線での呼びかけ、年頭たすけあい献血では、全戸にチラシを配布し、市民のみなさんにお知らせしました。

また、地域献血及び事業所献血、年頭たすけあい献血ではBOXティッシュを、学校献血ではイラスト入り蛍光ペンを、献血に御協力いただいたお礼として進呈しました。

この他、平成30年10月24日に千年小学校4年生の福祉教育の中で献血についての学習を行い、血液センターより、実際に献血バスを準備頂き、乗車したり、子ども向けDVD鑑賞や詳しい説明を血液センター職員の方に行っていただきました。また、平成31年1月23日に浮羽究真館高等学校3年生の進路確定者に対して献血セミナーを実施しました。

7. 家族介護者交流事業（市受託事業）

家庭で寝たきりや認知症高齢者を介護している家族の支援を行いました。

①在宅介護者の会「コスモスの会」活動支援助成（助成額：102,050円）

期 日	内 容	参加者数
H30.4.6	役員会 会場/うきは市民センター2階「喫茶あひるの子」	4名
H30.5.7	会計監査 会場/うきは市民センター2階「喫茶あひるの子」	5名
H30.5.25	総会、交流会 会場/うきは市民センター2階 第1会議室、「喫茶あひるの子」	14名
H30.6.15	定例会（研修：栄養士から学ぶ 流動食・とろみ食について） 会場/うきは市デイサービスセンター	11名
H30.7.9	定例会（リフレッシュ：ロコモ体操でこれからも元気に介護をしよう） 会場/うきは市総合福祉センター 2階和室	11名
H30.8.24	定例会（研修：何が変わったの？2018年介護保険改正について学ぶ） 会場/うきは市民センター2階第1会議室	13名
H30.9.21	定例会（研修：介護実習） 会場/うきは市デイサービスセンター	11名
H30.10.9	定例会（リフレッシュ：森林セラピー） 会場/吉井町福富地区	13名
H30.10.21	平成30年度家庭介護介護者養成講座「介護のストレスをケアしよう！」 主催：福岡県市町村振興協会	6名
H30.10.28	平成30年度家庭介護介護者養成講座「ここに注目！介護予防」 主催：福岡県市町村振興協会	5名
H30.12.14	定例会（研修：介護料理教室） 会場/千年コミュニティセンター調理室	10名
H31.1.23	定例会（視察研修会、太宰府天満宮初詣） 研修会：認知症サポーター養成講座/講師：福岡県社会福祉協議会	8名
	合 計	111名

②うきは市在宅介護者のつどい

期 日	内 容	参加者数
H31.3.11	在宅介護者のつどいリフレッシュ日帰りの旅 （日田祇園山鉾会館見学、日田市豆田町の街並み散策） 場所：大分県日田市	8名

8. 移送サービス支援事業（市補助事業）

会員制の移送支援グループ「ハンディ移送サービスうきは」に、社協公用車を貸与し、移送サービスの支援を実施しました。通院の送迎が主ですが、通院の帰りに買い物へ行く場合もあります。

送迎用の車輛は、軽シートアップ車、軽車イス対応車、介護車から選択することができます。なお、どの車輛も車椅子を折りたたんで運ぶことができますが、軽車イス対応車については、車椅子に乗ったままの移送が可能です。（利用無料、活動協力費を社協助成/助成額319,500円）

【ハンディ移送サービス利用状況】 協力会員 11名、登録会員 26名

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用者数		14	11	12	12	14	14	13	15	17	18	15	17	172	
内訳	歩行が困難な高齢者	独居高齢者	11	8	9	9	12	11	11	12	10	12	10	11	126
		高齢者世帯	2	2	3	3	2	3	1	3	5	4	3	4	35
		その他	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	1	7
	障がい者	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		視覚障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		難病・虚弱	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	4
移送件数		22	18	19	17	20	22	19	26	30	26	22	25	266	
内容	通院送迎	22	18	19	17	20	22	19	26	30	26	22	25	266	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
利用時間（時間）		55	36	52	43.5	49.5	55.5	42.5	61	70	65.5	51	58	639.5	
走行距離（km）		493	260	559	365	318	401	306	507	739	626	436	481	5,491	

《相談支援係》

1. 生活困窮者自立支援事業（市受託事業）

国の新たな施策である「生活困窮者自立支援法」が、平成27年4月1日から全国で本格実施されました。この事業は、働きたくても働けない、住むところがない等といった様々な相談をお受けし、一人ひとりの状況にあわせた支援プランを作成、専門の支援員が相談者に寄り添いながら、他の専門機関と連携して、お困りごとの解決に向けた支援を行う事業です。今までの高齢者や障がい者といったカテゴリーで対応してきた福祉の制度と違い、この事業では、失業者、多重債務者、ホームレス、ニート、ひきこもりなど、さまざまな方への支援が考えられており、複合的な課題を抱え、これまで「制度の狭間」に置かれてきた方々への支援を行う制度となっています。

本会では市の委託を受けて、平成26年7月からのモデル事業に引き続き、自立相談支援事業、個別支援計画策定、就労準備支援事業、家計相談事業、子どもの学習支援事業を実施しました。

(1) 自立相談支援事業

生活困窮問題についての相談をお受けして、解決策を検討しました。相談内容は以下の通りで、非常に多岐にわたった内容となっています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
相談所開設日数	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244
相談対応者数	11	14	19	13	13	10	17	9	6	12	12	12	148
うち、保護受給者数	2	2	3	4	3	1	2	0	1	2	0	0	20
相談対応総数（訪問含）	26	32	32	30	36	25	52	24	18	38	34	30	377
新規相談者数	3	4	8	3	3	1	6	2	2	2	1	1	36

	内 容
相談内容上位1位	心身関係相談
相談内容上位2位	生活困窮相談
相談内容上位3位	人間関係相談

①個別支援計画策定

生活困窮状態から脱却するために、本人の意思を尊重しながら自立支援に向けた計画を策定し、利用者はこのプランに基づいた訓練や学習支援などを受けています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
個別支援計画策定件数	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	4
うち保護受給者数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
現実施計画累計数	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216

※個別支援計画策定件数には、新規および更新の件数含む。

(2) 就労準備支援事業【内職シェアステーションCococonne（こここんね）開設状況】

就労準備支援事業として、うきは市総合福祉センター内に内職シェアステーションCococonneを設置し、2種類の内職作業を提供しながら、就労に向けての訓練や他人とのコミュニケーションの訓練、また社会参加を促すようなグループ活動などを実施しました。また、内職受注先である長尾製麺株式会社のご好意により、袋詰めしたラーメン・そばを「自立ラーメンまえむき」「自立そばあとおし」としてパッケージ化し、販売させていただきました。この販売収益が作業者の安定した収入と就労へのモチベーションへと繋がっています。

〔通所者工賃〕 H30.4月～H31.3月 一人平均69,370円/年

〔内職受注先〕

事業所名	所在地	作業内容
株式会社 熊谷ゴム	久留米市田主丸	ゴム製品のバリ取り
長尾製麺 株式会社	うきは市吉井町	ラーメンの袋詰め

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
開設日数	20	21	21	21	23	18	22	21	19	19	19	20	244
通所者数	17	15	12	13	15	15	16	14	11	15	16	15	174
延べ人数	120	179	162	120	133	135	160	153	122	139	152	173	1,748
うち保護受給者数	4	4	4	5	3	4	4	2	2	4	5	3	44
うち保護受給者延べ人数	51	54	59	57	40	37	35	26	30	39	44	46	518
平均利用	6.0	8.5	7.7	5.7	5.8	7.5	7.3	7.3	6.4	7.3	8.0	8.7	
受注事業所件数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	

(3) 家計相談支援事業

家計相談支援事業では、家計状況の「見える化」と根本的な課題を把握し、相談者が自ら家計管理できるように、状況に応じた支援計画の作成、相談支援、関係機関へのつなぎ等を行い、早期の生活再生を支援しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
家計に係る相談件数	1	1	0	0	1	0	0	1	1	1	2	1	9
うち事業対象者数	1	1	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	7
うち生活保護に繋いだ件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(4) 子どもの学習支援事業

生活保護世帯・生活困窮している世帯の中学生を対象とした学習支援を市内2ヶ所で展開し、居場所の確保、学習の場の提供、進学・進路のアドバイス、年齢の近い社会人・大学生ボランティアを利用した将来的なモデル提示等を積極的に展開し、子どもたち目線での貧困対策支援を実施しました。

また、当事業においては近隣大学である久留米大学や市内中学校、行政機関と連携し、幅広いネットワークの中で柔軟に子どもたちの対応を進めました。

【対応人数】

	吉井会場	浮羽会場	合計
実人数	9名	14名	23名

※3年生10名(1名両会場利用)、2年生4名、1年生8名

【利用者数】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
吉井会場の開設日数	3	5	4	4	4	5	6	7	6	7	7	3	61
浮羽会場の開設日数	3	4	4	4	3	5	7	6	5	5	5	3	54
合計	6	9	8	8	7	10	13	13	11	12	12	6	115
(吉井)利用者数	8	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	107
(浮羽)利用者数	6	14	14	14	14	14	14	14	13	13	13	13	156
合計	14	23	23	23	23	23	23	23	22	22	22	22	263

【進路実績】

進 学 先	
福岡県立高等学校	7名合格・進学
私立高等学校	3名合格・進学
3年生10名が進学先決定	

2. 福祉サービス利用援助事業（日常生活自立支援事業（市受託事業））

うきは市より委託を受け、福祉サービス利用援助事業を実施し、利用者の日常生活の自立を支援しました。平成30年度においては、家族からの金銭搾取や悪徳業者の詐欺被害にあった方等、緊急を要するケースもあり、迅速な対応が求められました。なかには、金銭管理だけにとどまらず、生活全般の支援が必要な方も多く、よりきめの細かい対応が必要となっています。

【契約締結審査会】

	期 日	会 場	審査対象者数	出席者
第1回	H30.9.3	うきは市総合福祉センター	2名	委員7名
第2回	H31.2.4	うきは市総合福祉センター	2名	委員7名
第3回	H31.3.11	うきは市総合福祉センター	2名	委員5名

【相談経路】[利用者（契約者・試行利用者・状況観察者）実人員46名]

本人	1	親族	5	民生委員・児童委員	2
区長、地域住民	1	医療機関	3	特別支援学校	1
入所施設	2	介護支援専門員	5	障害者相談支援事業所	8
障害者就業・生活支援センター	1	福祉事務所福祉係	1	福祉事務所保護係	10
うきは市保健課	2	うきは市税務課	1	保健福祉環境事務所	1
他市町村社協	1	地域福祉活動 コーディネーター	1	合 計	46

【契約者数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約者数	高齢者	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	10
	身体障がい者	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	知的障がい者	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23	23
	精神障がい者	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3
	その他	5	5	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5
試行利用契約		0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	3	2
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		43	43	42	42	43	43	44	43	44	44	45	46

【訪問、活動回数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
契約者数	高齢者	50	50	47	57	47	45	51	47	54	44	39	61	592
	身体障がい者	17	24	18	14	24	10	16	15	12	14	13	15	192
	知的障がい者	126	146	147	155	135	114	124	139	131	106	126	130	1,579
	精神障がい者	43	49	38	44	42	38	33	29	32	36	32	32	448
	その他	35	40	42	35	37	31	48	43	42	39	49	31	472
試行利用契約		0	0	0	0	9	16	17	15	14	19	31	8	129
状況観察		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		271	309	292	305	294	254	289	288	285	258	290	277	3,412

【その他】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
その他権利擁護に関する相談受付回数	3	4	1	2	1	2	1	3	3	1	2	1	24
新規契約者	0	0	0	0	1	0	2	0	1	0	1	1	6
契約終了者	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	2	6

認知症高齢者や障がい者等要支援者に対する悪質業者による訪問販売への対応（行政、地域包括支援センター等関係機関との連絡調整）など、本サービスの利用に結びつかない事例でも、随時相談に応じると共に、必要に応じて成年後見人制度の紹介、申立てに繋げるなど対応しました。

契約事項	サービス内容
福祉サービス利用援助	福祉サービス利用についての相談、情報提供、利用料金支払い代行等
日常的金銭管理	公共料金等の支払い代行、預貯金の出し入れ支援等
書類等預かりサービス	日常的金銭管理に使用する預金通帳や印鑑、年金証書、契約書等の預かり

【生活支援員の活動について】

利用者が地域で安心して生活できるように、日常生活に必要な生活費の受け渡しをすると共に、健康や日常生活上のさまざまな相談を受けるなど、利用者の自立した生活をサポートする生活支援員を養成し、7名の方に登録していただいております。そのうち、平成31年3月現在、6名の方にご協力いただいております。

<福祉サービス利用援助事業>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	11	17	14	11	11	12	10	15	13	10	15	14	153

<成年後見事業>

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
活動回数	2	5	4	5	4	4	5	4	4	3	4	4	48

3. 成年後見事業

成年後見事業では、認知症高齢者、知的障がい者及び精神障がい者等、意思決定が困難な方の判断能力を補うため、本会が成年後見人等となり、判断能力が不十分な方の財産管理や身上監護を行うことによって、その権利を擁護し、地域で安心して生活できるよう支援をしていきます。また、福祉サービス利用援助事業の契約時より、認知症状等の症状が進行し、事業対象の枠を超えるケースが出てきたり、近くに親族等がない要援護者が増えたりという現状に対応するためにも、成年後見制度へ移行し、社協が法人後見の受任をすることによってきめ細やかな支援ができ、安心して暮らせる地域づくりにつながると考えています。

(1) 法人後見審査会の開催

※今年度は申立て案件なく、法人後見審査会の開催はありませんでした。

※法人後見審査会の構成員…行政、医師、司法書士、民生委員等

(2) 法人後見受任状況

No.	性別	類型	症状	審判を受けた年	申立人	ご本人の居住	利用経緯等
1	女性	後見	知的障がい	H 28 年度	市長	在宅→施設	福祉事務所福祉係
2	女性	後見	知的障がい	H 29 年度	市長	在宅	福祉サービス利用援助事業利用者

(3) 市民後見推進事業（市受託事業）

① 成年後見制度普及・啓発講座

成年後見制度、市民後見普及・啓発講座を開催し、成年後見制度や市民後見人の必要性について市民に広く啓発し、市民後見人を確保できるように推進を図りました。

	開催日	内 容	参加者数
1	H30.11.13	「事例から学ぶ成年後見制度」 講師：弁護士法人しらぬひ柳川事務所 弁護士 桑原 義浩 氏	25 名
2	H30.11.20	「終活～自分らしい生き方・逝き方～」 講師：北九州ヘルスケアサービス(株) 上級終活カウンセラー 馬場 三重子 氏	18 名

会場：うきは市総合福祉センター

② 市民後見人フォローアップ研修

	開催日	内 容	講師・会場	参加者数
1	H30.7.24	地域における社会資源を学ぶ視察研修 高齢者や障がい者の権利擁護について	①就労支援事業所「白鳥の家」 ②障害者支援施設「希望が丘」 ③特別養護老人ホーム「水月吉井」	11 名
2	H30.11.18	先駆的機関への視察研修 (権利擁護・市民後見センターらいと) 成年後見制度、市民後見人の役割について 講演会・後見活動事例発表会に参加	①北九州市 ウェルとばた	8 名
3	H31.2.18	成年後見制度における変遷	成年後見センター リーガルサポート福岡支部 司法書士 石川 正志氏	8 名
		後見活動に関する演習	富永司法書士事務所 司法書士 富永 真博氏	
4	H31.3.7	障がい者に対する理解と演習	障がい者しごと支援センター木の 施設長 三善 史博氏	10 名
		高齢者に対する理解と演習	福岡県介護福祉士会 副会長 賀戸 麻里子氏	

3・4についての会場：うきは市総合福祉センター

成年後見制度・市民後見普及啓発講座を開催し、成年後見制度や市民後見人の役割や必要性について市民に広く啓発し、推進を図りました。

市民後見人においては、平成 28・29 年度の市民後見人養成講座【基礎編】・【実務編】受講者のうち、市民後見人登録者は計 15 名となっています。社協が実施している福祉サービス利用援助事業の生活支援員として活動して頂きながら、経験を積んだのちに、適任者に市民後見人として、活動を依頼することを想定しています。

平成 30 年度は市民後見人として登録いただいている方々に対して、フォローアップ研修を開催し、福祉施設や先進地への視察研修等を行いました。今後も援助技術の向上とモチベーション維持を目的としてフォローアップ研修を実施する予定です。

4. うきは市障害者相談支援センター（市受託事業）

障害者相談支援事業では、障がい者のさまざまな相談に応じていますが、昨年度に比べて、相談件数が 840 件増えています。利用者の方の入退院が相次ぎ、病院との連携が増えた事や新しいサービスの利用をする事で関係機関との連携が増えた事が件数の増加の要因だと思われます。

今後も他の部門との連携を行いながら、様々な生活上の相談に対して利用者の方により添いながら支援を行っていきます。

(1) 障害者相談支援事業

市からの受託事業として、障がい者の様々な相談に応じると共に、障害者総合支援法に基づく福祉サービス利用に係る障害支援区分認定調査及び障害支援区分認定審査会への参加を行いました。

【相談件数・相談内容】

		身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	関係機関	その他	合計
相談方法	電話	93	574	449	3,780	690	5,586
	来所	40	160	183	840	92	1,315
	訪問	194	603	192	650	129	1,768
	メール	10	1	4	31	33	79
合計		337	1,338	828	5,301	944	8,748
相談内容内訳	①福祉サービスの利用	126	381	302	2,289	457	3,555
	②障がいや病状の理解	29	175	99	701	109	1,113
	③健康・医療	57	177	58	601	85	978
	④不安の解消・情緒安定	0	93	121	117	16	347
	⑤保育・教育	0	18	13	98	3	132
	⑥家族関係・人間関係	3	64	51	149	93	360
	⑦家計・経済	22	62	27	191	42	344
	⑧生活技術	19	159	16	249	32	475
	⑨就労	8	62	57	173	11	311
	⑩社会参加・余暇活動	34	48	30	194	18	324
	⑪権利擁護	8	43	13	125	21	210
	⑫その他	31	56	41	414	57	599
合計		337	1,338	828	5,301	944	8,748

【会議等】

障害支援区分認定調査件数	89件
障害支援区分認定審査会参加	10回
地域障害者協議会参加	1回
地域障害者協議会 事務局会議参加	6回
地域障害者協議会 児童部会参加	1回
地域障害者協議会 就労支援部会参加	11回
地域障害者協議会 計画相談部会参加	2回
地域障害者協議会 合同部会参加	1回

(2) 障害者社会参加促進事業

うきは市総合福祉センターにおいて、障がい者の交流・相談の拠点として障害者地域支援センター「ほっとスペースうきは」を運営しました。センターでの活動に際しては、利用者の皆さんに登録を頂き、利用していただいています。

また、ほっとスペースでの行事開催をとおして参加者同士の交流もできていますので、利用者のご希望を伺いながら行事企画し、障がい者の交流・相談の拠点としての機能を充実していきます。

【ほっとスペースうきは利用実績】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実利用者数		26	54	30	23	16	21	27	14	19	36	19	28	313
内訳	身体障がい者	5	2	5	2	2	3	5	1	3	2	2	5	37
	知的障がい者	5	14	7	10	4	7	9	4	3	4	3	6	76
	精神障がい者	13	11	12	7	7	6	8	5	7	5	8	11	100
	障がい児	1	0	1	0	0	1	0	0	0	7	0	0	10
	その他	2	7	3	2	3	3	4	4	4	7	5	4	48
関係者・家族		0	20	2	2	0	1	1	0	2	11	1	2	42

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者延人数	165	214	179	129	124	123	154	153	127	156	169	179	1,872
内 訳	身体障がい者	25	23	29	21	22	21	18	7	15	18	22	247
	知的障がい者	43	67	62	46	34	38	46	37	29	32	31	501
	精神障がい者	73	70	58	36	40	34	56	64	55	60	81	708
	障がい児	1	0	1	0	0	1	0	0	0	7	0	10
	その他	23	34	27	24	28	28	33	45	26	28	34	364
	関係者・家族	0	20	2	2	0	1	1	0	2	11	1	2
新規登録者	20	0	6	3	1	0	9	0	0	1	0	7	47
内 訳	身体障がい者	3	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	8
	知的障がい者	3	0	1	1	1	0	5	0	0	0	2	13
	精神障がい者	13	0	3	0	0	0	2	0	0	1	0	22
	障がい児	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	その他	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	関係者・家族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
見学者数	0	0	0	0	17	0	0	23	0	0	9	40	89
内 訳	身体障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	知的障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	精神障がい者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	障がい児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	関係者・家族	0	0	0	0	17	0	0	23	0	0	9	40

■ほっとスペースうきはでは次の行事を行いました。

平成30年 6月30日：野球観戦、10月18日：たこ焼き・ホットケーキ作り、

12月26日：クリスマス交流会

平成31年 1月26日：チャレンジド親の会交流会、3月14日：お菓子作り

(3) 点字・声の広報等発行事業

市内の視覚障がい者の方へ、朗読ボランティア（声のグループうさぎ、朗読ボランティアともしび会）の協力により、広報うきは、ふくしのかかわら版を定期的に、また必要に応じて身近な情報をテープに録音し届けました。（利用者：5名）

また、市内の点字を利用している視覚障がい者の方へ、点訳ボランティア点筆の会の協力により、身近な情報を点訳し届けました。（利用者：7名）

(4) 指定相談支援事業

障がい者（児）等からの相談に応じ、サービス事業者、施設、病院など関係機関と連絡調整等を行い、地域で安定した生活ができるよう支援計画等を作成しました。

障がい児の計画作成、モニタリング件数については、年を追うごとに増加しています。今後も障がい者が継続してサービスを利用していく中でのサービスの満足度や新たなニーズの発生の有無を分析・点検していきます。

①指定特定相談支援事業（市指定）：サービス等利用計画の作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	5	5	11	15	0	0	4	2	2	2	3	3	52
モニタリング件数	9	6	8	11	10	12	6	8	9	6	5	3	93

②障害児相談支援事業（市指定）：障がい児通所サービス利用計画の作成

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成件数	0	1	0	9	1	2	0	0	1	0	0	3	17
モニタリング件数	0	1	1	0	2	0	1	0	7	0	0	1	13

- ③指定一般相談支援事業（県指定／平成 25 年 10 月 1 日）：地域移行支援、地域定着支援の実施
・計画策定なし

5. 不登校・ひきこもり対策相談支援事業（市受託事業）

市の受託事業として、専門相談員を配置し、不登校の子どもたち、ひきこもり状況にある方、その家族を対象に、相談に応じると共に、本人の同意を得た上での訪問活動、連携機関との情報共有、通年セミナーの開催等を行いながら包括的な支援を展開するなど、より本人の希望する道へと導けるよう支援を行いました。

また、相談・交流スペースを設置し、午後をフリースペースとして開放、専用相談ダイヤルの設置、メール・インターネットでの相談開始、家族会の開催、当事者の会（Switch：スイッチ）の活動支援等を積極的に展開しました。特に家族支援の観点から、「うきは市不登校・ひきこもりを考える会」と共催で家族会を延べ 12 回開催し、52 名の参加がありました。

【支援実人数と相談・訪問支援件数】

	不登校	ひきこもり	合 計
支援実人数	23	25	48
支援方法	不登校	ひきこもり	合 計
相談支援（電話・メール・来所） / 回	509	606	1,115
訪問支援（自宅訪問） / 回	78	61	139
合 計	587	667	1,254

【支援状況】

経過（不登校）	人数	経過（ひきこもり）	人数
進学決定	4	就労開始・継続	8
登校開始・継続	3	フリースペース利用	0
就労支援	5	就労支援	1
他機関へ移管	0	内職シェアステーション利用	4
不登校気味	7	ひきこもり気味	6
完全不登校	4	完全ひきこもり	5
ひきこもりへ移行	0	他機関へと移行、終了	1
合 計	23	合 計	25

【フリースペース利用状況・回数】

利用実人数	人数
不登校	8
ひきこもり	6
家族・関係機関	80

利用者	回数
不登校	368
ひきこもり	366
家族・関係機関	227

◆不登校・ひきこもりに関するセミナーの開催

開催日	会 場	参加者数	内 容
H30.8.4	うきは市総合福祉センター	15 名	「家族から理解する不登校・ひきこもり ～子どもたちの今を通して～」 教育文化研究所 所長 長阿彌 幹生 氏

■家族会・当事者の会支援

①家族会「みつばちの会」の支援

毎月第 3 水曜日 19 時から定例会を開催。参加者は毎月 5 名程度。コーディネーターに長阿彌幹生氏（教育文化研究所代表）をお呼びし、家族から見つめる不登校・ひきこもりについて考えました。

②当事者の会「Switch(スイッチ)」の支援

平成 24 年度からフリースペースを利用している当事者により、自分たちで支え合う団体（セルフヘルプグループ）として活動を行いたいとの声により、当事者の会 Switch が設立。メンバーでの交流活動等を行いました。今後は当事者間の交流等を進め、個人個人の目標を見つめ直す機会にもしていきます。

6. 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業（市受託事業）

平成28年度にうきは市における子どもの孤立や貧困状況について実態調査を基に策定された、「うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業実施計画」に基づき、経済的に困窮している世帯やひとり親世帯、生活保護・生活困窮世帯の子どもたち（平成30年度より小学生全学年対象）へと学習機会の確保や生活習慣の定着などを包括的に提供する居場所を提供すると共に、子ども達が生活する家庭や地域へと将来に向けた自立への支援や環境作りを行いました。

居場所では子どもたちの学習習慣の定着のために宿題の実施を徹底すると共に、遊びを通じた精神的なより添い活動を行いました。特に自立に向けた取組としては、調理実習を月1回程度開催し、その際には買い物から実施する事で、子どもたちに金銭感覚を身に付けると共に、子どもたちが主体的に調理行程を実施していくなど、計画性を身に付けています。さらにはこの居場所で身に付けたスキルを家庭や学校で発揮できるように、褒めて伸ばし、自己肯定感を高める支援環境を提供しました。

今後も子どもたちの環境を整えると共に、保護者側の相談をこまめに受け入れ、関係作りを行ったうえで、それぞれの世帯でのお困りごとなどを伺い、学校・家庭と社会資源を繋ぎ、子どもから世帯の一体的な支援へと結び付けていきます。

(1) 利用者実数

利用者	実人数
小学1年生	1名
小学2年生	3名
小学3年生	3名
小学4年生	2名
小学5年生	1名
小学6年生	1名
中学・高校生	1名
保護者	8名
合計	20名

(2) 相談対応・連携件数

対象者	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
子ども	41	65	78	74	85	98	134	139	126	112	120	132	1,204
保護者	24	48	60	37	31	54	86	88	79	61	77	71	716
支援関係者	8	14	22	12	9	20	21	26	12	17	14	13	188
合計	73	127	160	123	125	172	241	253	217	190	211	216	2,108

(3) 支援関係者との連携

- うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク実務者会議 開催（平成30年5月21日）
- うきは市子どもの未来応援地域ネットワーク協議会 開催（平成30年11月19日）
- 朝日子どもの未来 九州ブロック大会 運営委員（朝日新聞厚生文化事業団主催）

(4) フードバンク支援

複数の市内事業所にご賛同いただき、市内在住の子どもたちを食から支援していく視点と、食品ロスの観点より、パン・ケーキ・焼き鳥・たこ焼き等の食品を不定期でご提供いただいています。提供いただいた食品は子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業だけではなく、生活困窮者自立支援事業における学習支援にも有効活用しています。

更には福岡市で活動しているNPO法人フードバンク福岡と同意書を交わし、長期保存可能な食料や清涼飲料水、お菓子などを不定期でご提供いただきました。

7. 資金貸付事業

民生委員児童委員が低所得世帯等の更生指導をおこなう資源として、資金貸付制度の運用をおこないました。資金の貸付にあたっては、貸付調査委員会の意見・答申のもとに行いました。

【貸付調査委員会】

回数	期日	会場
第1回	H30.6.5	うきは市総合福祉センター
第2回	H30.8.22	うきは市民センター
第3回	H30.10.29	うきは市総合福祉センター
第4回	H30.12.26	うきは市民センター

【初回相談件数】

相談内容	件数
生活費等	21件
教育費	10件
その他（問い合わせ）	15件
合計	46件

(1) 生活福祉資金貸付事業（県社協より事務委託）

【貸付状況】

資金種類	30年度取扱い分	内30年度新規
総合支援資金	5件	0件
福祉資金	13件	3件
緊急小口資金	12件	2件
教育支援資金	65件	6件
合計	95件	11件

【貸付決定額】

資金種類	決定額
総合支援資金	0円
福祉資金	927,000円
緊急小口資金	63,000円
教育支援資金	14,984,000円
合計	15,974,000円

(2) 援護資金貸付事業

うきは市社協独自の貸付制度で、うきは市に居住される方の一時的に生活費などに困窮された方に貸付を行いました。

【援護資金貸付状況】

区分	年度当初償還残額	件数	年度内貸付	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
前年度以前貸付	0円	0件			0円	0円	0件
30年度内貸付			120,000円	4件	120,000円	0円	0件
合計	0円	0件	120,000円	4件	120,000円	0円	0件

(3) 育英奨学資金貸付事業

社協独自の育英奨学金として、低所得世帯の生徒に対し高等学校への修学資金を貸し付けていますが、平成30年度は申し込みはありませんでした。

【育英奨学資金貸付状況】

区分	年度当初償還残額	件数	年度内償還額	年度末償還残額	件数
貸付完了分	26,200円	1件	26,200円	0円	0件
貸付完了分（猶予分）	1,728,000円	3件	0円	1,728,000円	3件
25-27年度貸付完了分	3,388,800円	7件	835,200円	2,553,600円	7件
合計	5,143,000円	11件	861,400円	4,281,600円	10件

Ⅲ 在宅福祉サービス事業部門

1. 居宅計画支援係（うきは市ケアプランサービスセンター）

平成30年度の年間利用者数は、延べ人数で対前年度比、要介護△8名、要支援者△34名、介護報酬は0.4%の減となりました。収入減となった理由として、要介護者については新規利用者40名に対して、死亡8名、入院32名、入所7名と利用中止となった方が多かつたことが上げられます。

要支援者の計画策定受託についても、浮羽地域包括支援センターからの要請を積極的に受け入れています。入院や死亡による利用中止が多いこと、並びに委託単価が低く設定されていることにより、収入減となりました。

居宅計画事業は元々、採算が取りにくい事業ではありますが、介護保険の要の事業であり、次年度も事業が継続できるよう病院や民生委員など、関係機関・団体への働きかけを強化し、利用者の確保を図っていきます。

□営業日：月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）

□サービス提供時間：午前8時30分～午後5時15分

（但し、24時間連絡可能な体制を確保）

□職員体制：介護支援専門員 3名

(1) 居宅介護支援事業：要介護認定者のケアプラン作成

【居宅サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	64	63	64	62	62	67	66	68	74	72	76	71	809

(2) 介護予防支援事業（浮羽地域包括支援センター受託事業）：要支援認定者の予防プラン作成

【介護予防サービス計画作成実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
作成件数	15	15	15	13	13	15	16	12	13	14	14	15	170

2. 訪問介護支援係（うきは市ヘルパーステーション）

介護保険事業については、昨年度まで実施していた介護予防訪問介護事業を廃止し、これに代わる相当サービス事業、訪問型サービスA（緩和型事業）を行い、訪問介護事業と合わせて、制度の狭間ができないように取り組みました。しかし、訪問介護事業に関する報酬額も下がり、周辺の他事業所が事業撤退している中、経営的・人的にも厳しく、現体制では急なニーズの対応等もなかなか応じられないような状況になってきています。

昨年度まで好調な伸びを見せている障がい福祉サービス（居宅介護サービス、同行援護サービス）及びうきは市委託事業である移動支援事業については、同行援護サービスと移動支援事業は前年度より収入増となりましたが、居宅介護サービスにおいて前年度比で約24%減と大きく落ち込みました。理由としては、介護保険事業と同じく、施設入所や入院、死亡によるものが主な理由となっています。

今後も利用者のニーズに柔軟に対応できるように、ケアプラン事業所をはじめ、関係機関・団体への働きかけを強めていきますが、職員体制を含め事業体制の見直しも必要です。

サービス内容については、利用者の心身状況や思いとケアプラン内容が合致したものとなっているかを精査し、実情に合ったものとなるよう担当者会議等で提案していきます。

また要介護者、障がい者の利用者確保にも努め、事業が継続できるようにしていきます。

□営業日：年中無休（但し、12/31・1/1を除く）

□営業時間：午前8時30分～午後5時15分

□サービス提供時間：午前7時～午後9時

□職員体制：ホームヘルパー11名（内、介護福祉士6名）（H31.3.31現在）

【平成30年度新規利用者】

- ・介護保険事業：要介護者18名、相当サービス利用者9名、緩和型サービス利用者1名
- ・障害福祉サービス：障がい者3名、移動支援2名、受託居宅介護0名

(1) 介護保険事業

①訪問介護事業：要介護認定者へのヘルパー派遣

【訪問介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	18	21	23	23	23	24	24	22	21	23	25	22	269
利用回数	211	257	297	291	276	275	244	219	220	258	254	263	3,065

②相当サービス事業：相当サービス認定者へのヘルパー派遣

【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	26	28	26	28	26	26	26	27	29	29	28	29	328
利用回数	152	168	153	168	152	142	155	159	186	162	146	166	1,909

③緩和型サービス事業：訪問型サービスA認定者へのヘルパー派遣

【訪問型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	12	13	11	11	12	12	12	12	11	11	11	10	138
利用回数	48	57	40	44	50	45	51	49	40	39	42	42	547

(2) 障害福祉サービス事業

①居宅介護：障がい者へのヘルパー派遣

【障害者居宅介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	21	20	20	21	19	19	20	18	18	20	20	19	235
利用回数	204	204	168	216	154	149	201	193	193	195	193	184	2,254

②同行援護：視覚障がい者のガイドヘルプ

【障害者同行援護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	3	3	4	3	4	3	4	3	3	3	3	39
利用回数	13	19	16	19	19	21	28	25	18	13	13	23	227

(3) 受託事業

①移動支援事業（市受託事業）

障がい者の外出支援（ガイドヘルプ）

【障害者移動支援事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	1	1	1	1	1	1	1	1	0	2	1	2	13
利用回数	2	1	2	1	1	1	2	1	0	2	1	2	16

②ひとり親家庭等日常生活支援事業（市受託事業）

平成30年度は利用実績なし

③受託居宅介護事業（グループホーム「オリーブ」受託事業）

グループホーム「オリーブ」入居者の受診同行（身体介護）

平成30年度は利用実績なし

3. 通所介護支援係（うきは市デイサービスセンター）

平成30年度、通所介護は利用者減、利用回数も減少し、介護報酬は前年比△15.2%となりました。要因としては、利用者やご家族のニーズが単独型の通所介護から、通所リハビリテーションや短期入所を併設している施設を好まれる傾向になってきていることや、将来的な入所を見越して、入所施設併設の通所介護事業所に慣れておきたいという考え方の変化、また、短期入所を含むサービス調整によってケアマネジャーが家族の意向を尊重した裁量につながったことが挙げられます。

通所介護事業全体としては、相当サービス事業、通所型サービスA（緩和型事業）ともに、利用者減、利用回数減となっていますが、市内および市外のサービス事業所が増加して、利用者およびご家族とすればサービス選択の幅が広がり、サービスを選択しやすい環境になっています。

平成31年度は他事業所と連携して、サービス特性に応じた受け入れによる住み分けに配慮した事業展開を検討していきます。

営業日：介護予防通所介護、通所介護 年中無休（但し、12/31～1/3を除く）

サービス提供時間：通所介護事業 午前9時15分～午後4時30分（時間延長あり）

相当サービス事業

緩和型サービス事業（通所型サービスA）

訪問入浴介護 午前9時30分～午後5時15分

1日の職員体制：職員8名（管理者、生活相談員、看護師、介護職員、機能訓練指導員）職員の兼務有。

調理：調理員3名、献立：栄養士1名（兼務職員）

※センター専用調理室で、昼食とおやつを提供

【平成30年度の新規利用者内訳】

・要介護者23名、相当サービス利用者8名、緩和型サービス利用者2名

(1) 通所介護事業

要介護認定者へ個別機能訓練、口腔機能訓練、入浴介護等のサービスを実施し、要介護状態の悪化防止に努めました。

【通所介護事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	42	45	44	45	45	43	43	49	48	48	48	51	551
利用回数	478	508	529	516	498	503	535	571	564	546	541	590	6,379

(2) 相当サービス事業

【相当サービス事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	20	19	20	20	22	22	22	17	20	20	20	20	242
利用回数	114	125	123	131	137	134	150	109	121	128	131	130	1,533

(3) 緩和型サービス事業（通所型サービスA）

【通所型サービスA事業実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	15	15	15	15	15	14	13	13	11	11	11	12	160
利用回数	58	68	57	58	55	50	56	52	41	41	43	41	620

(4) 身体障害者訪問入浴サービス事業（市受託事業）

障がい者の訪問入浴介護を、訪問入浴介護事業と併せて実施していますが、平成30年度は利用者はありませんでした。

4. 障害者就労支援係（ワークサポート白鳥の家）

平成30年度、就労移行支援事業では、3名が一般企業へ就職し、新体系移行後（平成23年10月1日～）延べ20名が就職することができました。また、就職した利用者の職場定着を図るため、就職先を訪問し職場との連携を図りながら、本人の状況を把握するとともに、電話や本人来所による相談にも応じるなど、職場内や日常生活のトラブル軽減に努めています。

さらに、就職後の長期的な支援継続のために、就労定着支援事業所としての新規申請を行い、平成31年1月より、指定就労定着支援事業所として事業を実施しています。

就労継続支援事業では、生産活動における訓練や相談を通じて、日常生活の支援を行いました。また、地域の皆さまの理解と協力を得るために、休日ショップ営業を4回（延べ7日間）開催し、地区福祉大会をはじめまごころ製品販売会（道の駅うきは）、うきは祭りへの出店と合わせ、施設や商品の周知・啓発を図りました。

また、工賃向上のために販売売上アップを軸に生産活動の充実を図り、新たな下請け作業の導入や、スワンショップでの雑貨販売強化のためにショップ内のリニューアルを行いました。

長年の懸案事項であった、老朽化に伴う「旧労働会館」の改修については、県に対して平成30年度社会福祉施設等施設整備費補助金を申請し補助決定となりましたので、平成30年度内に基本設計に着手し、平成31年度中には新作業棟にて事業を開始できる予定となりました。

- 開所日 月～金曜日（但し、国民の休日、12/29～1/3を除く）
- 開所時間 午前9時～午後4時
- 職員体制 管理者1名、サービス管理責任者1名
職業指導員1名、生活支援員兼就労支援員1名（就労移行支援事業）
生活支援員1名、職業指導員2名、商品企画員1名（就労継続支援事業B型）
就労定着支援員1名

【平成30年度の新規利用者内訳】

- ・就労移行支援事業利用者3名（内、就労継続支援事業より移行1名、新卒者1名）
- ・就労継続支援事業B型利用者5名（内、新卒者1名）

(1) 就労移行支援事業

- 定員：6名
- 主な訓練・活動（作業）内容：
 - ・就労に必要な知識、能力を向上させるために必要な訓練（面接訓練、履歴書作成訓練）
 - ・生産活動（下請け作業、名刺作成等）
 - ・職場見学・職場実習・トライアル雇用の支援
（実習先、雇用先の開拓と訪問、公共交通機関を利用した通勤訓練）
 - ・求職活動支援（ハローワークへの登録・求人検索）
 - ・職場定着支援（就職した利用者の職場訪問、相談対応）

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業名	訓練・作業内容
業者下請け作業	ピッキング作業（杉工場）/袋詰め作業（Kimmy）等
印刷作業	名刺印刷
自主製品	クラフトかご、入浴剤
スワンショップ	大規模販売会接客等

【職場実習実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実習者数	0	0	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	4
実習日数	0	0	0	0	0	19	9	10	0	0	0	0	38

- 実習受入事業所：医療法人向陽会介護老人保健施設うきは、株式会社ファーストダウン
(株)ドラッグストアモリ浮羽店、(株)コスモス薬品浮羽店
- 成 果：就労者 3 名（累計 20 名）

(2) 就労継続支援事業B型

- 定 員：15 名
- 主な訓練・活動（作業）内容：
- ・日常生活に必要な知識、能力を向上させるための訓練（生活習慣、清潔保持）
 - ・就労の機会の提供及び生産活動
 - ・生活相談

【主な訓練、作業内容】

訓練・作業名	訓練・作業内容
アルミ回収作業	ボランティアの方と一緒に回収、市民の方の提供品整理
自主製品の製作販売	牛乳パック再生椅子、小物作り、クスの消臭剤
スワンショップ	日用雑貨品の販売…(株)飛鳥産業、地域の方からの寄付物品を整理し販売
業者下請け作業	農産加工品袋・箱詰め（JA にじ農産加工センター）、板材包装ビニール加工（堤木材）、ゴム厚検査（テクノ月星）
パンの家スワンベーカリー	パンの製造販売、喫茶ルーム接客
喫茶あひるの子	コーヒー等飲み物、パンの販売、接客

- 工賃実績：1人当たりの平均工賃月額 31,847 円（時給換算 422 円） ※県指定計算による
(平成 29 年度福岡県平均工賃月額 13,841 円（全国平均 15,603 円）)

(3) 就労定着支援事業

- 定 員：15 名
- 主な支援内容：
- ・職場訪問による就労態度・職場状況の確認
 - ・職場支援担当者と本人の意思疎通を図るための調整
 - ・生活安定のための家庭訪問および助言
 - ・本人および職場からの相談対応
 - ・利用者間の交流を図るための取り組み（交流活動等）
 - ・職場休業日の居場所支援（白鳥の家での受け入れ）

(4) ワークサポート白鳥の家の主な行事

期 日	行事内容	期 日	行事内容
H30.4.13	國武庵タケノコ掘り	H30.10.14	御幸地区福祉大会出店
H30.4.16	あいの会食事会	H30.10.28	大石地区福祉大会出店
H30.4.27	メーデーパン納品	H30.11.3~4	うきは祭り出店 / 卒業生の集い（4 日）
H30.5.27	プロ野球観戦（ヤフオクドーム）	H30.11.11	山春地区福祉大会出店
H30.5.28	火災避難訓練・防災学習会	H30.11.22	國武庵ビザパーティ
H30.6.9	まごころ製品販売会（道の駅うきは）	H30.12.1～2	休日ショップ
H30.6.9～6.10	休日ショップ営業	H30.12.3	あいの会食事会
H30.6.18	平成 29 年度収支報告会	H30.12.17	平成 30 年度前期収支報告会
H30.6.21	災害時炊き出し訓練（カレーライス）	H30.12.25	仲間交流会
H30.7.4	健康診断	H31.1.4	三社参り・新年会
H30.8.22	浮羽消防署合同避難救助訓練	H31.1.9	健康診断
H30.9.1～2	休日ショップ	H31.2.8	調理実習（就労移行）
H30.9/21～22	宿泊訓練（福岡市）	H31.3.19	交通安全教室（うきは警察署指導）
30.10.13	まごころ製品販売会（道の駅うきは）	H31.3.21	休日ショップ

(5) ワークサポート白鳥の家事業実績

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
就労移行	利用者数	3	4	5	5	5	5	4	3	3	2	2	3	44	3.7
	利用回数	60	83	105	103	96	94	78	63	48	38	36	40	844	70.3
就労継続	利用者数	16	16	16	17	16	15	16	16	16	17	16	17	194	16.2
	利用回数	273	290	293	297	265	242	308	285	264	260	253	266	3,296	274.7
就労定着	利用者数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	6	6	6	18	16.0
	支援回数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	12	10	16	38	12.7

5. 制度補足サービス

介護保険制度など法定事業の範囲では対応できないサービスについて、利用者や家族、介護支援専門員等の要望に応じ、社協独自のサービス提供を行います。

(1) 暮らし安心サービス（うきは市ヘルパーステーション）

利用者や家族、介護支援専門員等の要望を受けて、介護保険並びに障害福祉サービス事業でのヘルパーでは対象とならない、通院時の院内介助等の身体介護や入院時の買物などの生活援助サービスを提供し、在宅生活の継続支援を行いました。

□利用者負担／1回当たり

時間	30分未満	30分以上 1時間未満	1時間以上 1時間半未満	1時間半以上 (30分増す毎に)
身体介護	1,000円	2,000円	3,000円	1,000円
生活援助	800円	1,600円	2,400円	800円

【利用実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	5	2	1	0	2	0	1	1	0	1	2	1	16
利用回数	8	3	1	0	2	0	1	1	0	1	8	9	34

※実利用者数 10名

(2) 訪問入浴介護事業（うきは市デイサービスセンター）

自宅での入浴やデイサービスの利用が困難な高齢者等を対象に、社協の独自事業として移動入浴車で訪問し、居宅での入浴サービスを提供し、身体の清潔保持と介護者の負担軽減を図り、在宅生活が送れるよう支援しました。

□1回の職員体制：看護師1名、介護職員2名

□1回の利用料金：1,250円

【利用実績】

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用者数	3	0	1	0	0	1	2	2	2	0	0	0	11
利用回数	3	0	0	0	0	1	3	7	5	0	0	0	19

6. 連携・協働事業

(1) うきはブロック介護サービス事業連絡会

うきはブロック介護サービス事業連絡会では、事業所間の情報交換、研修会等に参加し、介護情報の収集、職員の資質向上に努めました。

また、地域福祉活動との連携および介護サービス事業所の周知・啓発の一環として、御幸地区福祉大会、山春地区福祉大会にて高齢者見守り声かけ訓練や寸劇を行いました。次年度以降も各地区の要請に応じて、啓発活動を推進していきます。

(2) 障害者就業・生活支援センター「ぼるて」との連携

就労移行支援事業および就労定着支援事業については、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」により、職場実習中の保険加入等の支援を受けていましたが、保険内容を精査確認し本会から直接保険加入する方法に変更しました。また、就労定着支援事業を開始したことにより、就労定着支援事業契約者については本会が直接支援し、未契約や契約対象期間を過ぎたケースについては、分担して継続的に支援していくこと、契約中の転職希望等についての相談は、障害者就業・生活支援センター「ぼるて」と連携して対応することを確認しております。

(3) 福岡障害者職業センターとの連携

就労移行支援事業利用者の就職に向けて、福岡障害者職業センターでの適性検査を活用し、就職に向けた客観的なアドバイスを受け、本人の強みや能力の強化を図りました。

(4) 他就労移行支援事業所・就労定着支援事業所との交流

職員の資質向上や事業所の支援向上のため、他事業所の見学や研修、意見交換を行いました。

期 日	事業所名	内 容
H30.10.25	スプラライフ久留米センター	実習報告会参加
H30.12.10	障害福祉サービス事業所ちくぜん野の花	定着支援事業意見交換
H31.1.22	スプラライフ久留米センター	定着支援事業意見交換

IV その他

1. 実習・見学受入状況等

(1) 視察受入（地域福祉課、総務企画課）

期 日	団体・組織	人数	内 容
H30.4.12	朝日新聞厚生文化事業団	2	うきは市子ども・若者支援について
H30.5.16	福岡県庁	3	御幸地区協議の場「みゆき 28」見学
H30.6.25	厚生労働省社会援護局	5	うきは市の我が事丸ごとの地域づくり推進事業について
H30.7.10	日向市民生児童委員協議会	20	うきは市の生活困窮・子ども・若者支援について
H30.7.25	篠栗日赤奉仕団	17	うきは市日赤奉仕団あいの会との意見交換・交流
H30.8.3	佐賀県みやき町	7	うきは市の生活支援体制整備事業について
H30.8.3	淡路市社会福祉協議会	15	うきは市の生活困窮・子ども・若者支援について
H30.8.22	太宰府市	8	うきは市の生活支援体制整備事業について 御幸地区協議の場「みゆき 28」ミニ協議の場見学
H30.9.14	佐賀県みやき町	7	大石地区協議の場「ふれあい大石」見学
H30.9.19	中間市社会福祉協議会	4	うきは市の地域福祉活動について
H30.9.21	佐賀県みやき町	4	江南地区協議の場「かたらんね江南」見学
H30.10.15	みやこ町	3	うきは市生活支援体制整備事業について
H30.10.31	太宰府市民生・児童委員協議会 地域福祉部会	25	うきは市の地域福祉活動について
H30.11.7	佐伯市蒲江地区自治会	9	江南地区協議の場「かたらんね江南」について
H30.11.7	みやこ町	2	御幸地区協議の場「みゆき 28」見学
H30.11.15	筑紫野市民生児童委員協議会	26	うきは市の生活困窮者・不登校ひきこもり支援について
H30.11.16	人吉市西瀬校区	34	江南地区協議の場「かたらんね江南」について
H30.11.29	北海道鶴居村	3	うきは市生活支援体制整備事業について
H30.12.5	上毛町、上毛町社会福祉協議会	4	うきは市生活支援体制整備事業について
H30.12.7	大牟田市平原校区社会福祉協議会	27	うきは市の地域福祉活動について 平成 24 年九州北部豪雨後の地域の変化について
H30.12.7	東峰村、東峰村社会福祉協議会	2	うきは市生活支援体制整備事業について
H31.1.18	志免町社会福祉協議会	47	うきは市の地域福祉活動について 住民型有償サービスおおいし絆クラブの活動について
H31.1.22	豊肥地区社会福祉連絡協議会	12	うきは市の我が事丸ごとの地域づくり推進事業について うきは市社会福祉法人連絡協議会の取り組みについて
H31.1.22	東峰村、東峰村社会福祉協議会	2	「福富地区協議の場づくりのための勉強会」見学
H31.2.5	東峰村、東峰村社会福祉協議会	2	「福富地区協議の場づくりのための勉強会」見学
H31.2.19	東峰村、東峰村社会福祉協議会	1	「福富地区協議の場づくりのための勉強会」見学
H31.3.5	東峰村、東峰村社会福祉協議会	2	「福富地区協議の場づくりのための勉強会」見学
H31.1.31	大分県国東市武溪の会	16	御幸地区協議の場「みゆき 28」について
H31.2.5	久留米市三潆校区社会福祉協議会	39	うきは市の地域福祉活動について
H31.2.14	佐賀県みやき町第 2 層協議体執行部 小城市協議の場	20	江南地区協議の場「かたらんね江南」について
H31.2.15	大分県国東市社会福祉協議会	4	うきは市の生活困窮者支援について
H31.2.26	鹿児島県曾於市	12	うきは市の生活困窮者支援について
H31.3.12	沖縄県大宜味村	7	うきは市の生活支援体制整備事業について 住民型有償サービスおおいし絆クラブの活動について
H31.3.13	北九州市戸畑区ボランティア連絡協議会	32	うきは市ボランティア連絡協議会との意見交換・交流
H31.3.20	長崎県壱岐市社会福祉協議会	10	うきは市の生活困窮者・子どもの未来応援事業について
H31.3.28	NPO 抱樸	7	うきは市の生活困窮者支援について
計 29 団体			440 名

(2) 社会福祉士相談援助実習 (地域福祉課)

団体・組織	人数
久留米大学	3
計 1 団体 3 名	

(3) 訪問介護事業 (うきは市ヘルパーステーション)

訪問型サービス A ヘルパー養成研修受講者 12 名

※今年度は介護保険による訪問介護ヘルパー実習受入はありませんでした。

(4) 通所介護事業 (うきは市デイサービスセンター)

※今年度は介護職員の実習受入はありませんでした。

(5) 障害者就労支援事業 (ワークサポート白鳥の家)

団体・組織	人数	団体・組織	人数	団体・組織	人数
桂川町障害者関係連絡会	6	千年校区老人クラブ女性部	16	吉井小学校特別支援学級	11
福岡県福精連役員会	15	新川地区自治協議会	14	江南小学校特別支援学級	8
朝倉記念病院	16	江南地区自治協議会	22	筑後特別支援学校	1
東国分いきいきサロン	25	福富校区自治協議会	20	日田特別支援学校	3
久留米市山本町	10	かわはらさんち利用者	16	小郡特別支援学校	4
東花畑校区社会福祉協議会	18	市民後見人講座受講生	18	御幸小学校 5 年生	9
東国分校区社会福祉協議会	14	久留米大学 (実習・ボランティア)	4	御幸小学校 2 年生	75
春日市ボランティア連絡協議会	18	東峰学園	6	国東市社会福祉協議会	2
大川木の香らんど	20	輝翔館	1	苅田町社会福祉協議会	2
尼ヶ瀬区よりあい	15	福岡高等学園	1		
計 28 団体 390 名					

2. 講演、事例報告への職員派遣 (総務企画課、地域福祉課)

期 日	内 容	派遣職員
H30.5.11	さわやか福祉財団全国会議 (おいしい絆クラブ事例報告)	総務企画課 相良
H30.5.14	子ども NPO センター福岡 子どもにやさしいまちづくりネットワーク会議 講師	地域福祉課 権藤
H30.5.23	福岡県女性議員ネットワーク研修会 講師	地域福祉課 権藤
H30.5.29	久留米大学 社会福祉協議会実習者指導 外部講師	地域福祉課 権藤
H30.6.13	久留米大学 社会福祉専門職へのキャリアプラン作り 外部講師	地域福祉課 権藤
H30.7.5	久留米大学 就労支援論 外部講師	地域福祉課 権藤
H30.7.18	福岡県生活支援コーディネーター連絡会 (うきは市生活支援体制整備事業事例報告)	総務企画課 相良
H30.7.30	水俣市社会福祉協議会 ひきこもり支援研修会 講師	地域福祉課 権藤
H30.8.6	みやま市協議体 (うきは市生活支援体制整備事業事例発表)	総務企画課 相良
H30.8.9	ふくおかライフレスキュー事業 サポーター養成講座 (うきは市社会福祉法人連絡協議会事例発表)	総務企画課 相良
H30.8.28	九州沖縄地区生活支援コーディネーター活動研究大会 (うきは市生活支援体制整備事業事例発表)	総務企画課 相良
H30.9.6	平成 30 年度九州ブロック地域福祉研究会議 分科会① 「市町村における包括的支援体制構築のための協働」 報告者	地域福祉課 中川
H30.9.27	福岡県生活支援コーディネーターステップアップ研修 講師	総務企画課 相良 地域福祉課 中川
H30.10.4	厚生労働省 生活困窮者自立支援事業 就労準備支援従事者研修 講師	地域福祉課 権藤
H30.11.1	大刀洗町協議体 (うきは市生活支援体制整備事業事例発表)	総務企画課 相良
H30.11.11	第 5 回 生活困窮者自立支援全国研究交流大会 分科会 5 講師	地域福祉課 権藤

期 日	内 容	派遣職員
H30.12.5	浮羽地区 学校警察連絡協議会 講師	地域福祉課 権藤
H31.1.12	志免町社会福祉協議会 不登校・ひきこもり家族交流会 講師	地域福祉課 権藤
H31.2.5	福岡県生活支援コーディネーターステップアップ研修 講師	総務企画課 相良 地域福祉課 中川
H31.2.9	新宮町支え合いのまちづくりフォーラム (うきは市生活支援体制整備事業事例発表)	総務企画課 相良
H31.2.18	東峰村協議体 (うきは市生活支援体制整備事業事例発表)	総務企画課 相良
H31.2.20	久留米市北野町まちづくり振興会 講師	地域福祉課 権藤
H31.3.14	東峰村協議体 (コーディネーター)	総務企画課 相良
計 23回 延25名		

3. 書籍等への掲載

- 全国社会福祉協議会 地域福祉・ボランティア情報ネットワーク 掲載
- 厚生労働省 生活困窮者自立支援事業 人材養成研修 就労準備支援事業 従事者養成研修 掲載
(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000150350_00005.html)
- 公益財団法人さわやか福祉財団 新しい地域づくりをめざして「さあ、やろう」Vol. 6
(生活支援コーディネーターと協議体の取り組みを考える情報誌) 平成30年8月14日発行
新地域支援事業として移動・外出支援の助け合い活動、買い物支援、訪問助け合い(有償ボランティア)等を創り出した事例
《住民勉強会の企画から生活支援の有償ボランティアが発足、広がりを見せる》

V 平成30年度寄付概要

香典返し寄付金	合計	329件	9,104,500円
---------	----	------	------------

一般寄付金	合計	36件	518,740円
-------	----	-----	----------

物品寄付	合計	3件	1,881,831円
------	----	----	------------

平成30年度 事業報告 附属明細書

社会福祉法人うきは市社会福祉協議会

平成30年度事業報告には、事業報告の内容を補足する重要な事項がないため、定款第40条第2号に規定する事業報告の附属明細書は作成しない。

以上